

# オルガノ株式会社

## 2019年3月期 上期決算説明会

---

(証券コード：6368)

2018年11月7日

# 目 次

---

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
2. 中期経営計画進捗状況
3. 会社概要

# 目次

---

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
2. 中期経営計画進捗状況
3. 会社概要

# 中間決算発表のポイント

## <2018年9月期>

- 受注・売上・営業利益とも前期比で増加
- 水処理エンジは電子産業中心に活況、利益水準も改善
- 機能商品は各部門とも堅調に推移

## <2019年3月期見込>

- 電子産業の好調な推移背景に受注・売上は史上最高見込む
- 営業利益も売上増の効果により前期・計画を上回る見込み
- 機能商品は各部門とも堅調な推移を見込む

## <中計進捗状況>

- 電子産業分野の受注が当初計画を上回る水準で推移、大型投資の減速を想定していた中期計画の見直しを検討
- 新事業の開拓・機能商品事業の強化は計画通り実施



# 2019年3月期 上期実績

単位：億円	2017/09 実績	2018/09 計画	2018/09 実績	前期比	計画比
受注高	395	400	500	+105	+100
売上高	320	400	387	+67	△13
売上総利益 (%)	72 (22.5%)	84 (21.0%)	93 (24.1%)	+21 (+1.6pt)	+9 (+3.1pt)
販管費	74	78	78	+4	+0
営業利益 (%)	△2.3 (△0.7%)	6.0 (1.5%)	15.0 (3.9%)	+17.3 (+4.6pt)	+9.0 (+2.4pt)
経常利益	△1.8	5.5	15.4	+17.2	+9.9
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△2.5	3.2	9.1	+11.6	+5.9

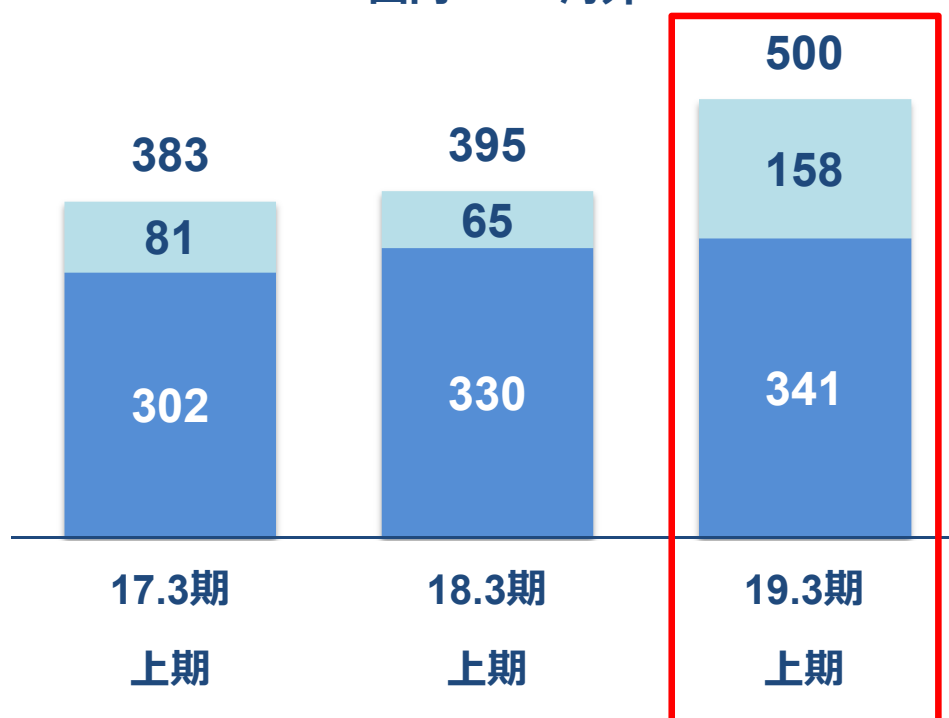
# 上期受注高の状況

- 台湾・中国の伸長により受注高は前期比で大幅拡大
  - ⇒ 停滞の見られた台湾の大型投資が回復（半導体関連）
  - ⇒ 中国では半導体を中心に電子産業関連の大型投資が続く
  - ⇒ 国内でも電子産業・一般産業を中心に設備投資は活発

(単位：億円)

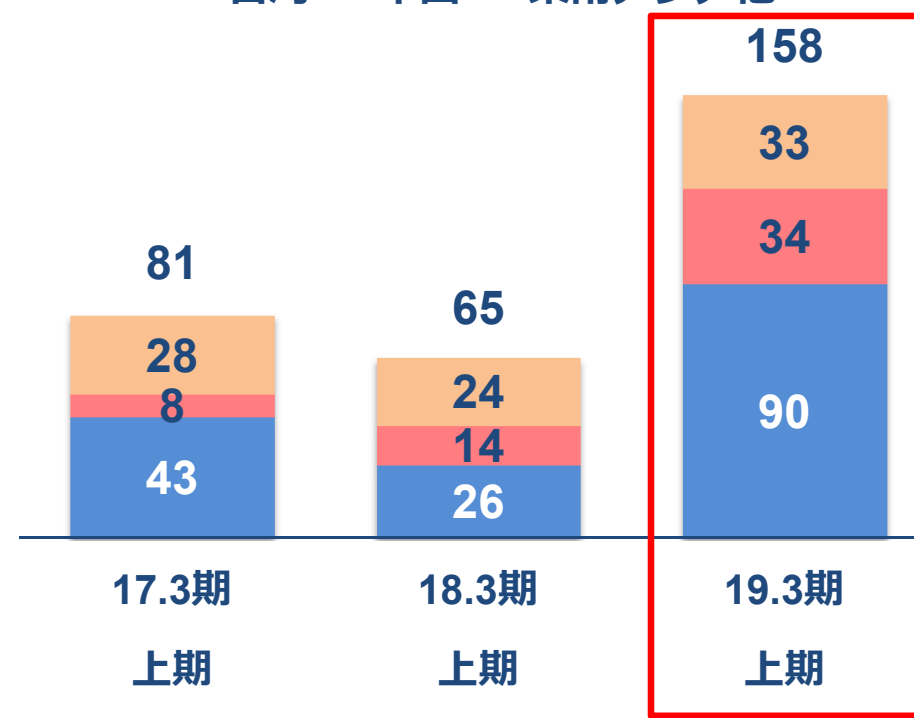
国内・海外別 受注高

■ 国内 ■ 海外



海外地域別 受注高

■ 台湾 ■ 中国 ■ 東南アジア他



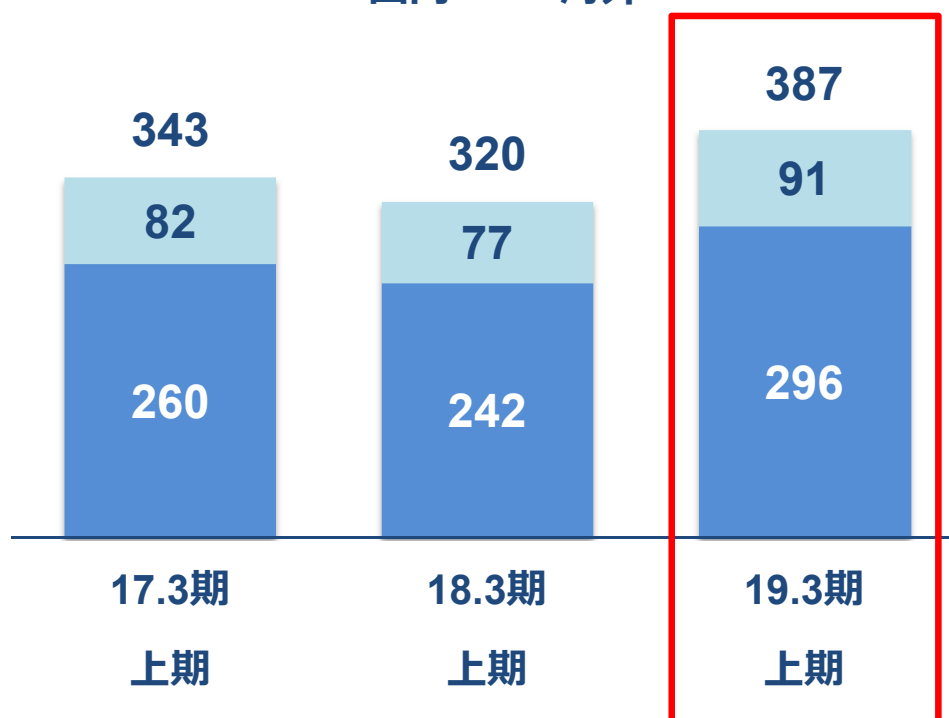
# 上期売上高の状況

- 国内・海外とも前期比で増加、上期としては高い水準の売上計上
  - ⇒ 上期受注した台湾の大型案件は下期以降に売上計上
  - ⇒ 国内では電子産業・一般産業を中心に売上拡大

(単位：億円)

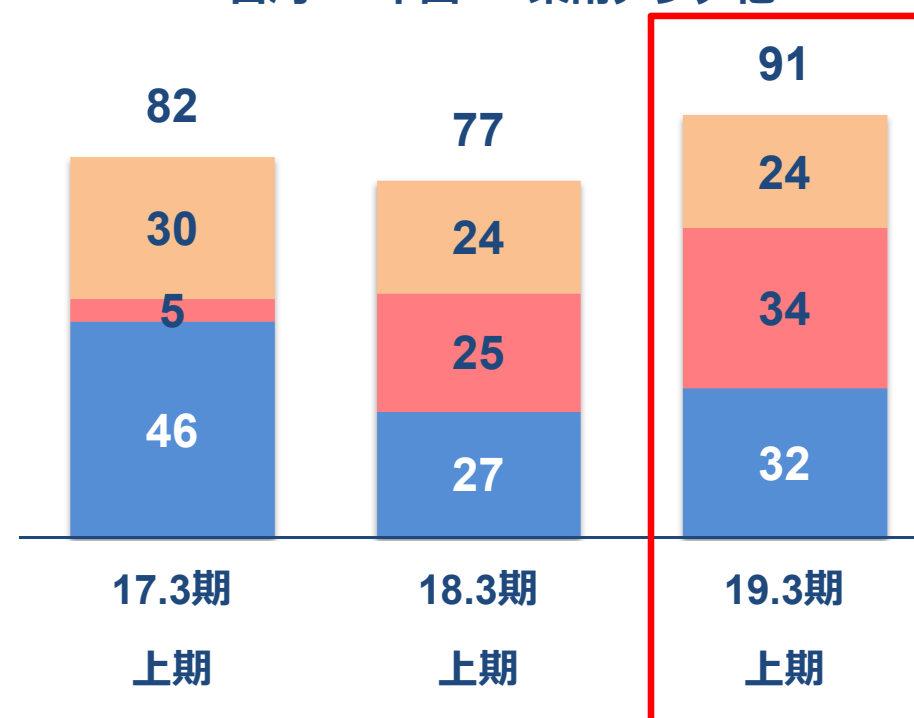
### 国内・海外別売上高

■国内 ■海外



### 海外地域別売上高

■台湾 ■中国 ■東南アジア他





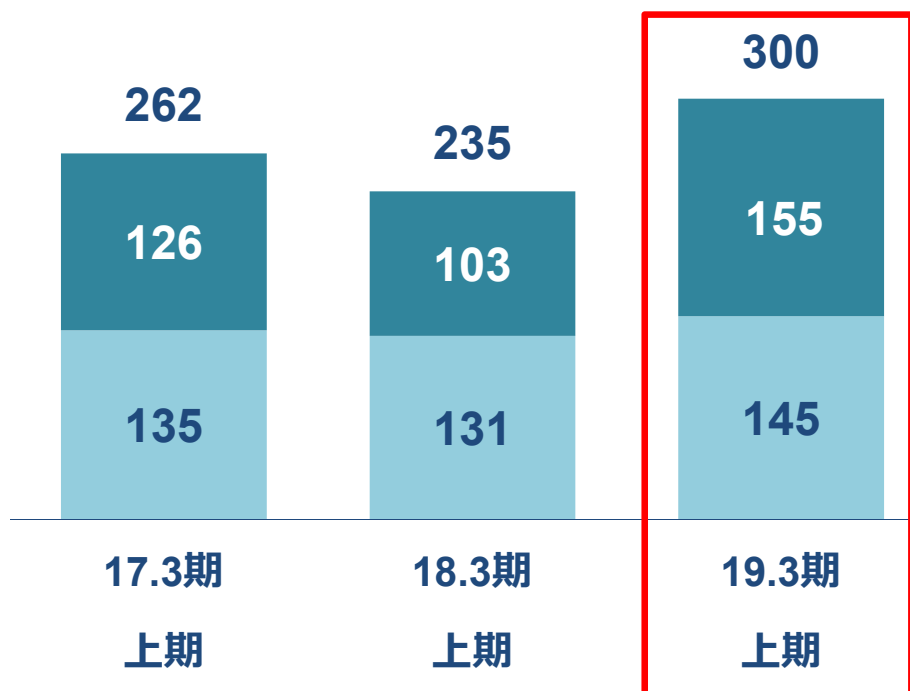
# 水処理エンジニア事業：上期売上高

- プラント中心に売上拡大、ソリューションも好調
- 電子産業が大幅に売上拡大、一般産業も堅調に推移  
⇒ 電子産業は国内のプラント売上中心に拡大

(単位：億円)

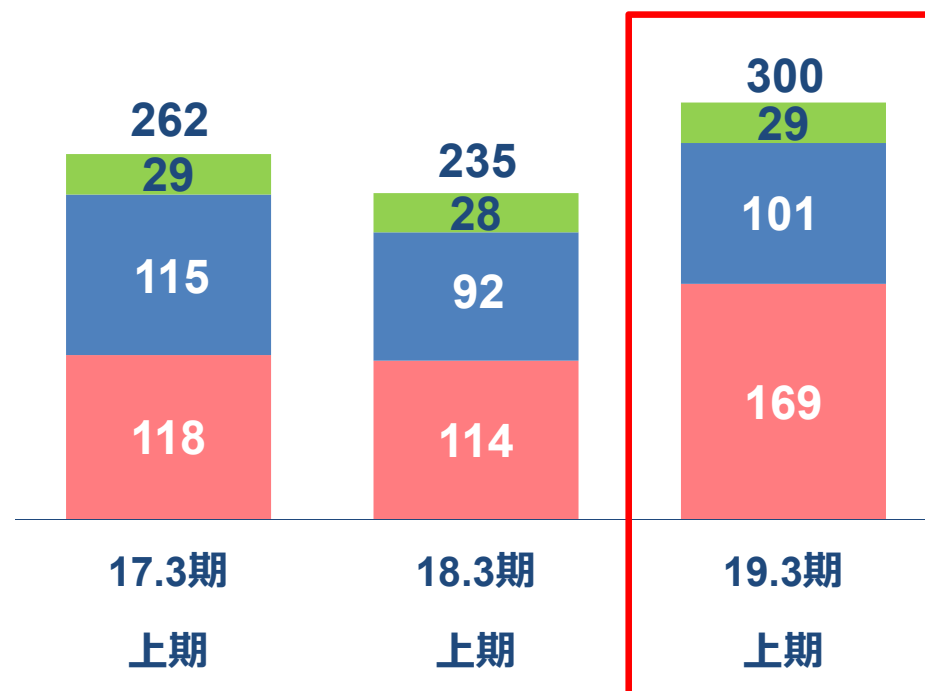
水エンジニア事業：部門別売上高

■ソリューション ■プラント



水エンジニア事業：顧客別売上高

■電子産業 ■一般産業 ■電力・上下水



# 機能商品事業：上期売上高

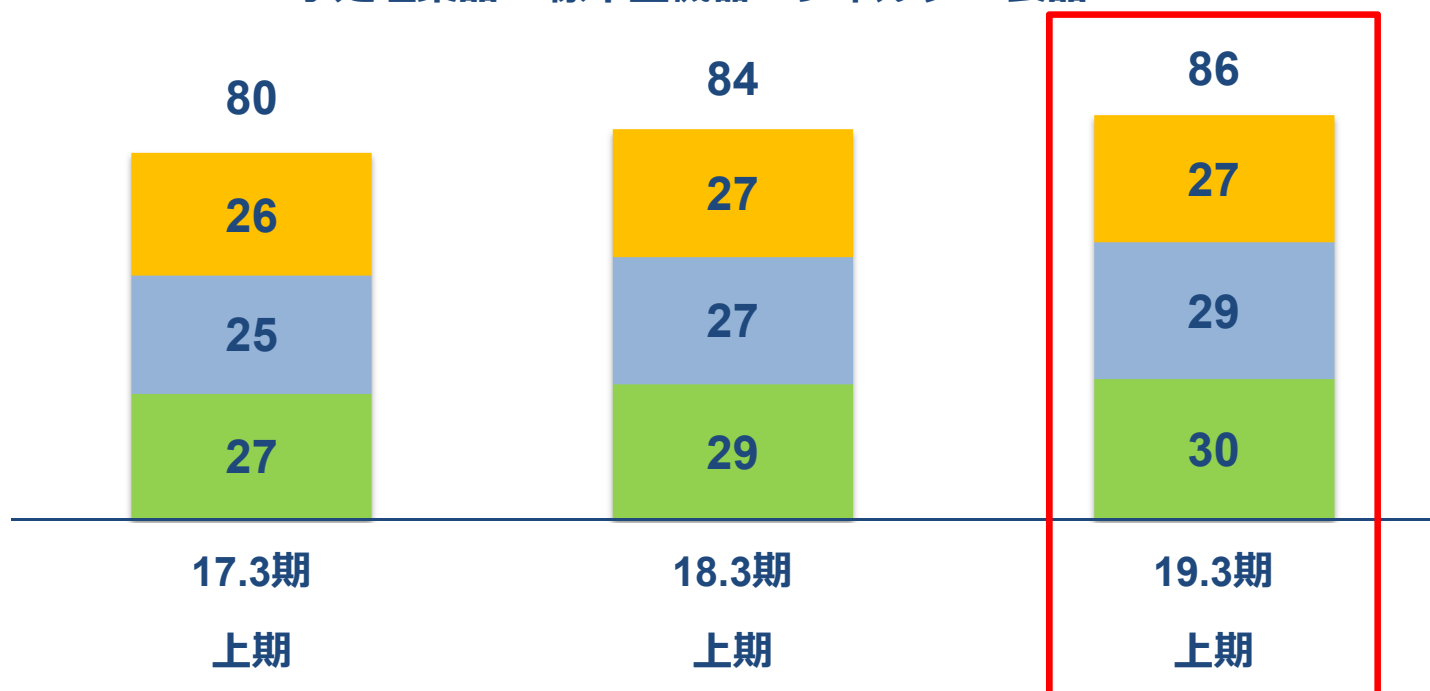
- 機能商品事業は各部門とも着実に売上拡大

⇒国内の設備投資・生産が高水準で推移したことを背景に  
水処理薬品・標準型機器・食品の各分野とも堅調に推移

(単位：億円)

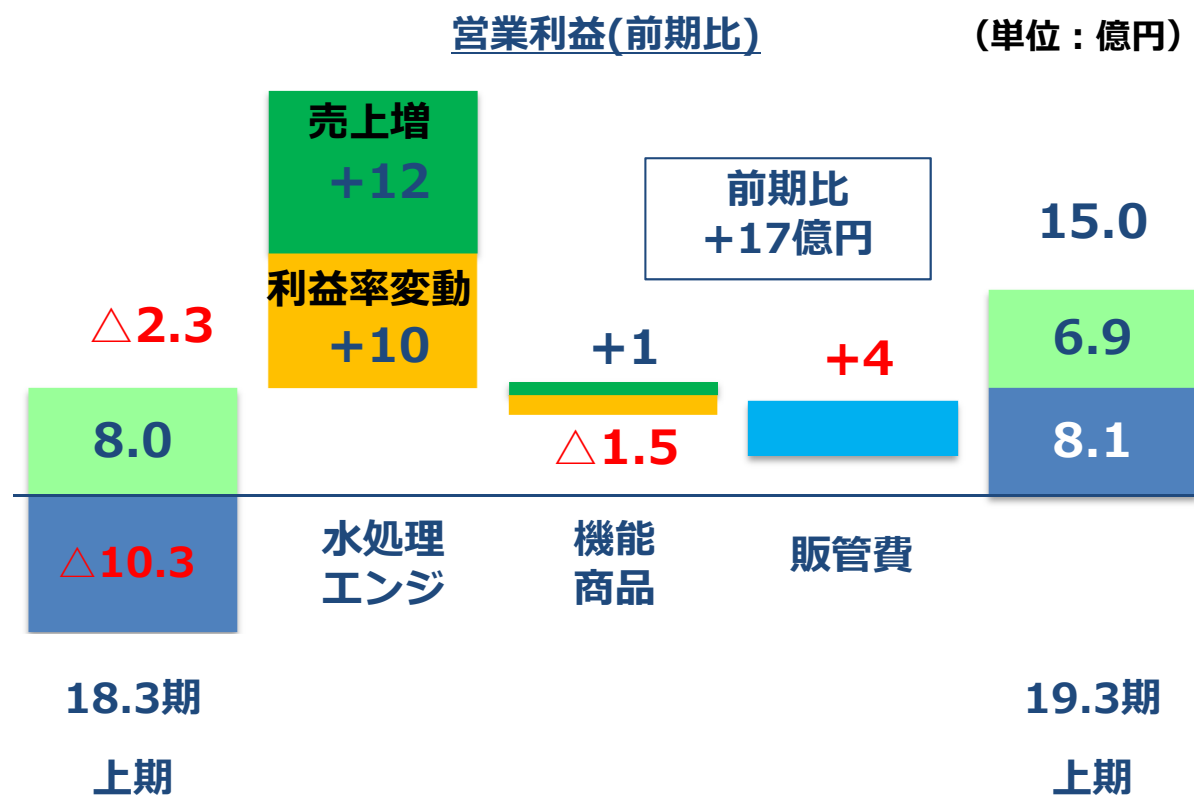
機能商品事業 部門別売上高

■ 水処理薬品 ■ 標準型機器・フィルタ ■ 食品



# 上期営業利益分析

- 水処理エンジ**：電子産業中心に売上拡大・プラントの利益率改善が奏功  
**機能商品**：売上拡大も製造コスト等の費用増によりほぼ横ばい  
**販管費**：研究開発や体制強化に伴ない販管費が増加



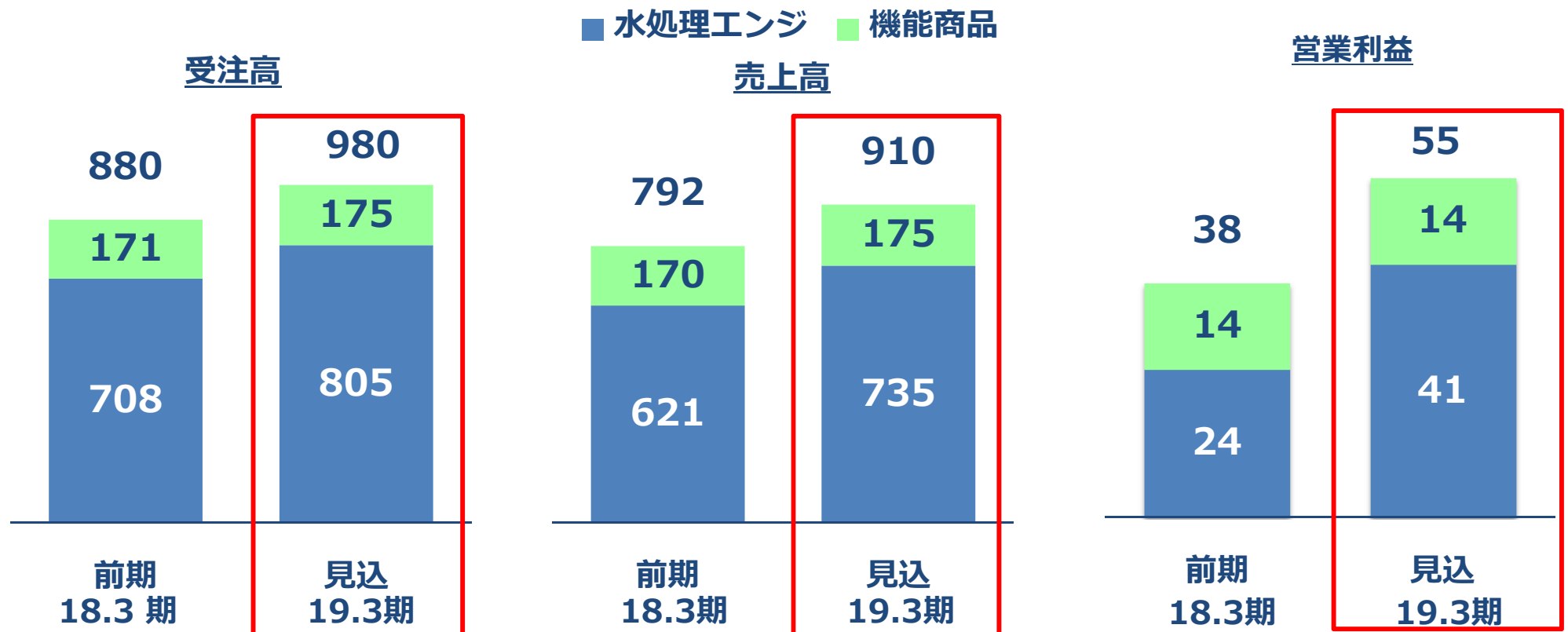
# 通期見込の概況

**受注高**：台湾電子産業の大型投資回復により前期比増見込む

**売上高**：日・中・台の電子産業分野で売上拡大見込む

**営業利益**：売上増に加え、プラントの利益率改善による増益見込む

(単位：億円)



# 2019年3月期 通期見込

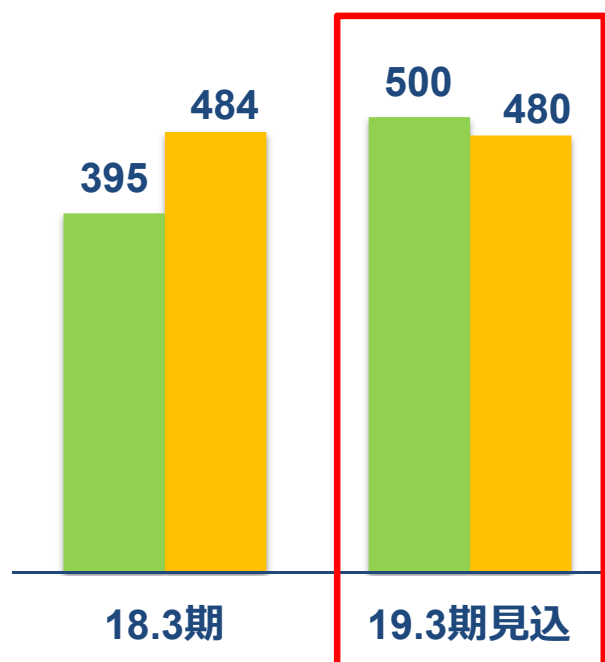
単位：億円	18年3月期 実績	19年3月期 計画	19年3月期 見込	前期比	計画比
受注高	880	870	980	+100	+110
売上高	792	890	910	+118	+20
売上総利益 (%)	191 (24.2%)	199 (22.4%)	212 (23.3%)	+21 (△ 0.9pt)	+13 (+0.9pt)
販管費	153	157	157	+4	+0
営業利益 (%)	38 (4.8%)	42 (4.7%)	55 (6.0%)	+17 (+1.2pt)	+13 (+1.3pt)
経常利益	39	41	54	+15	+13
親会社株主に 帰属する 当期純利益	27	28	37	+10	+9

# 受注・売上・営業利益の動向

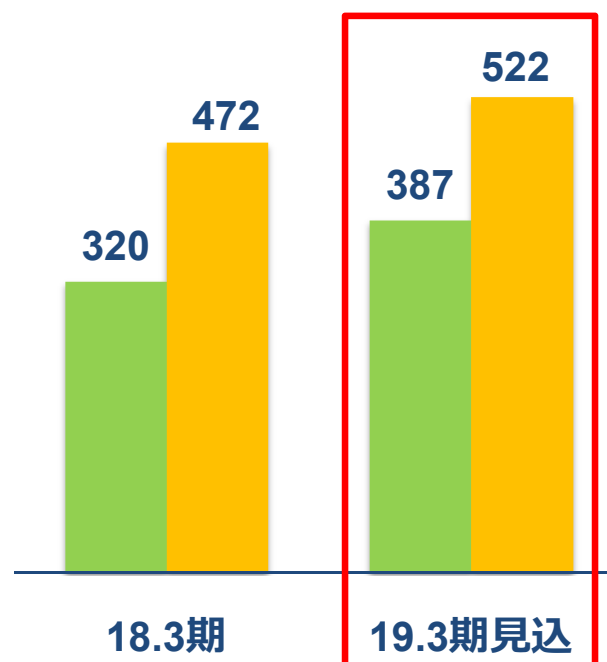
- 受注高は電子産業中心に前下期から高水準で推移  
⇒前期好調だった日本・中国に加え台湾の大型投資回復も寄与
- 売上高・営業利益は下期に偏重する傾向  
⇒下期に納期を迎えるプラント案件多く、原価改善効果も下期に集中

■ 上期 ■ 下期 (単位：億円)

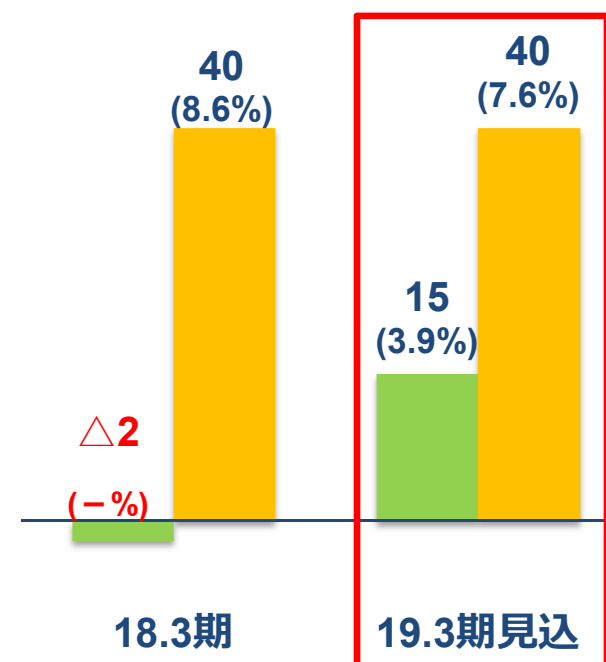
受注高(上下別)



売上高(上下別)



営業利益・率(上下別)

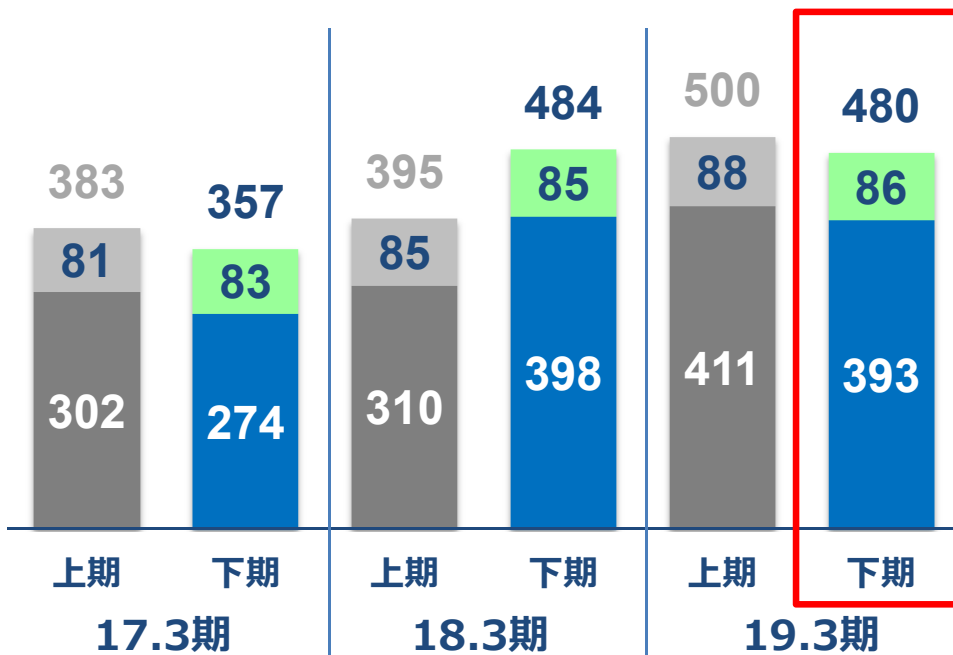


# 通期受注高見込

- **受注高は電子産業中心に前下期から高水準で推移**  
⇒前期より好調の日本・中国に加え今期は台湾の大型投資も回復
- **通期では史上最高となる受注高980億円に挑戦**  
⇒先行きの不透明感あるも電子産業中心に足下の受注環境は好調

期間受注高推移

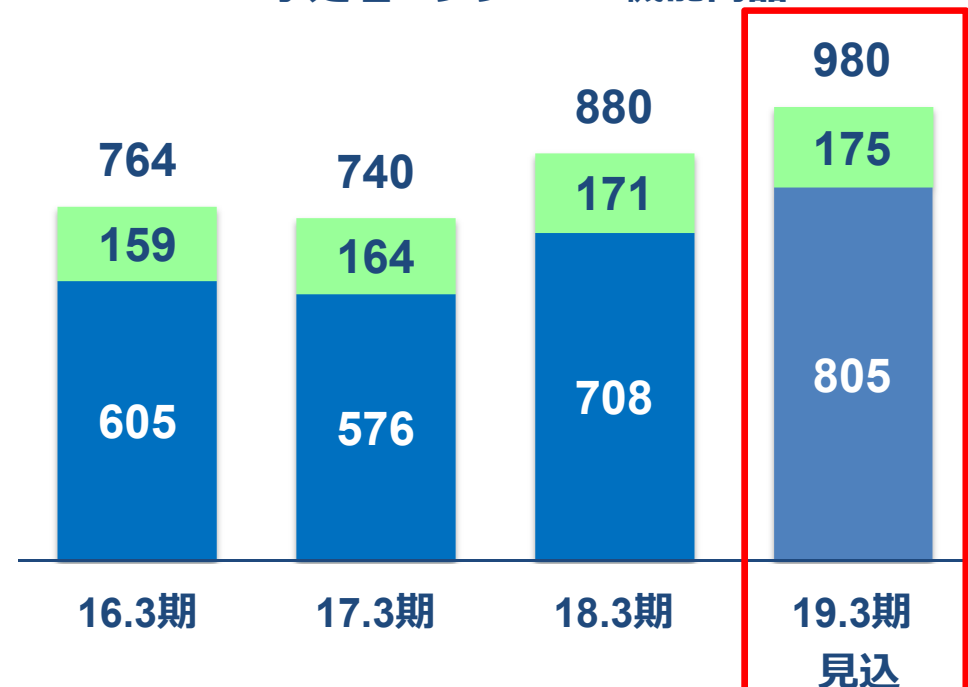
■ 水処理エンジ   ■ 機能商品



通期受注高推移

(単位：億円)

■ 水処理エンジ   ■ 機能商品

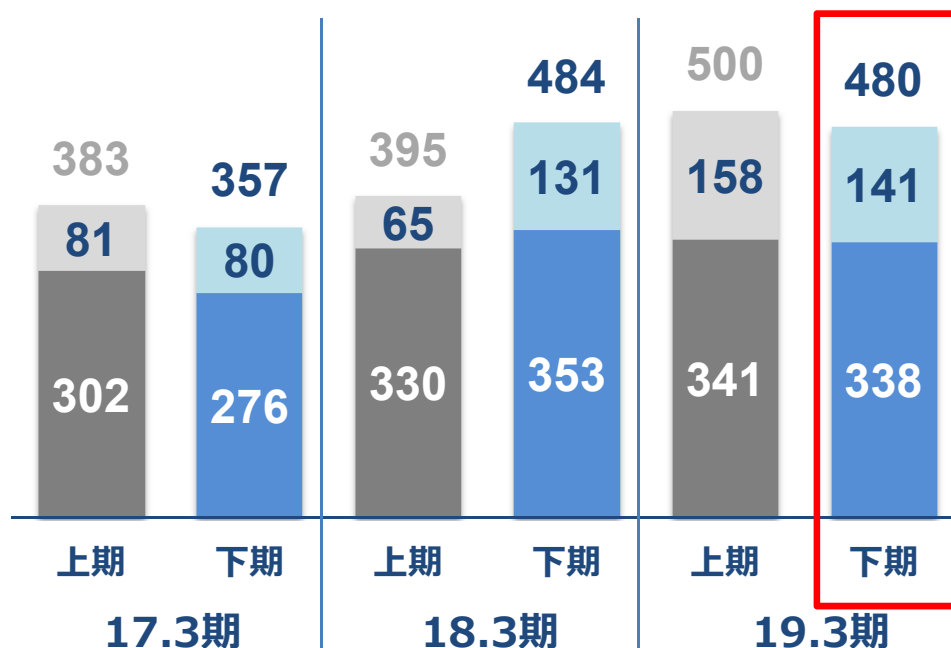


# 通期受注高見込：国内・海外別

- 国内は前期から高い水準の受注が継続する見込  
⇒電子産業中心に設備投資が活発、一般産業やソリューションも堅調
- 海外は台湾の投資回復により大幅に拡大  
⇒活発な投資続く中国に加え、やや停滞見られた台湾の投資回復が寄与

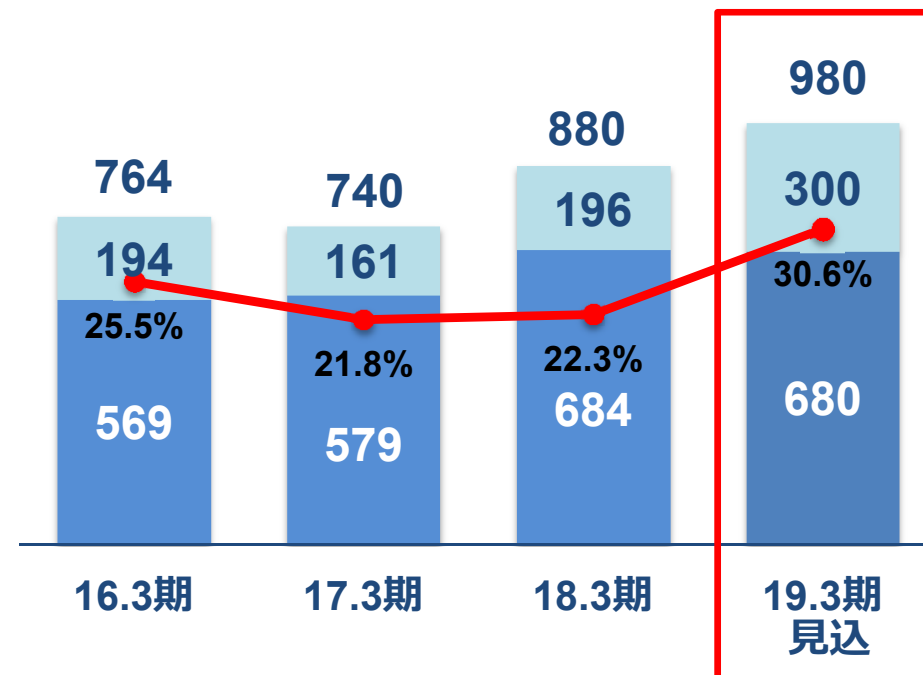
国内・海外別 受注高

■国内 ■海外



国内・海外別 受注高 (単位：億円)

■国内 ■海外 ●海外比率



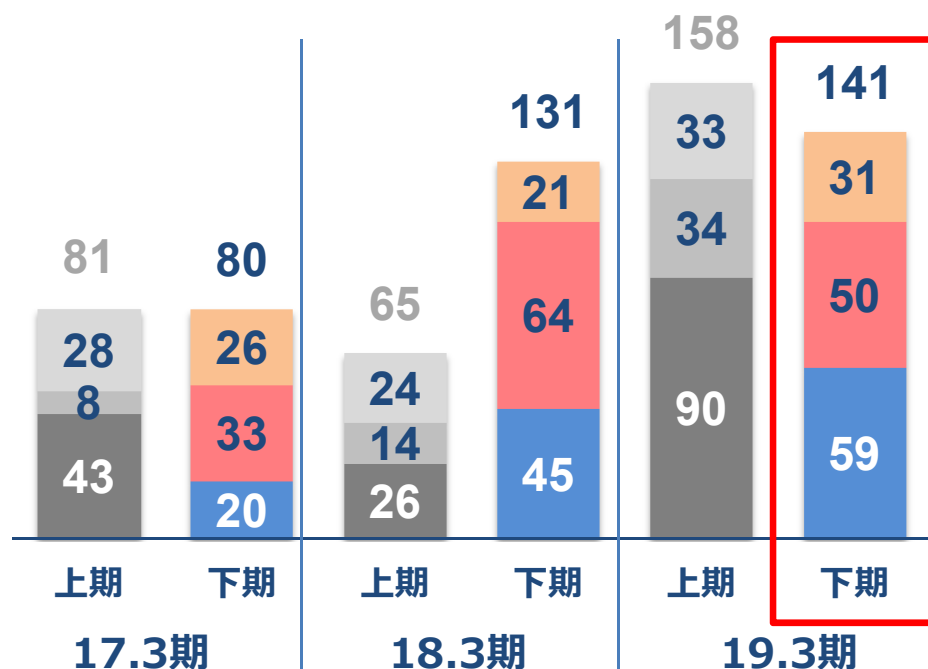


# 通期受注高見込：海外地域別

- 台湾の受注高が大幅に増加する見込  
⇒やや停滞していた台湾の大型投資が回復、下期も複数の案件を受注見込
- 中国では活発な設備投資が続く見込  
⇒半導体を中心に大型の設備投資が継続

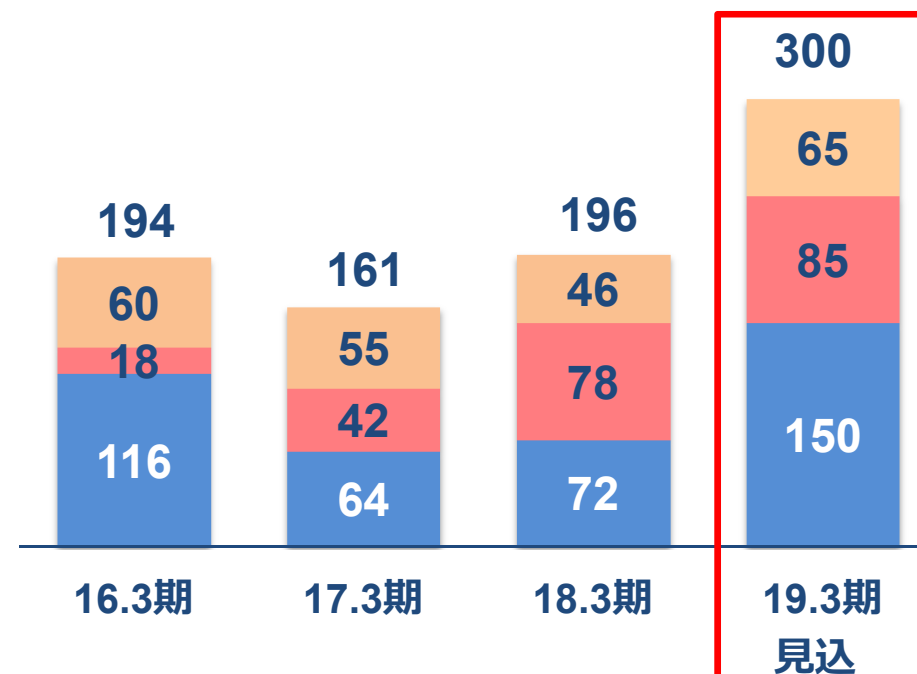
海外地域別 受注高

■台湾 ■中国 ■東南アジア他



海外地域別 受注高 (単位：億円)

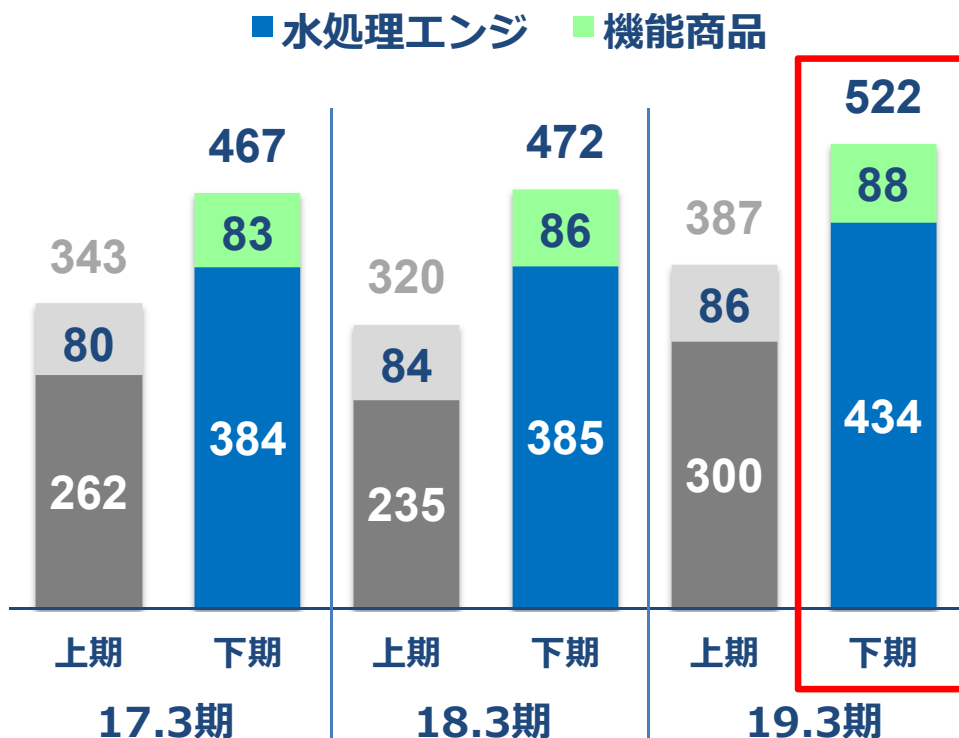
■台湾 ■中国 ■東南アジア他



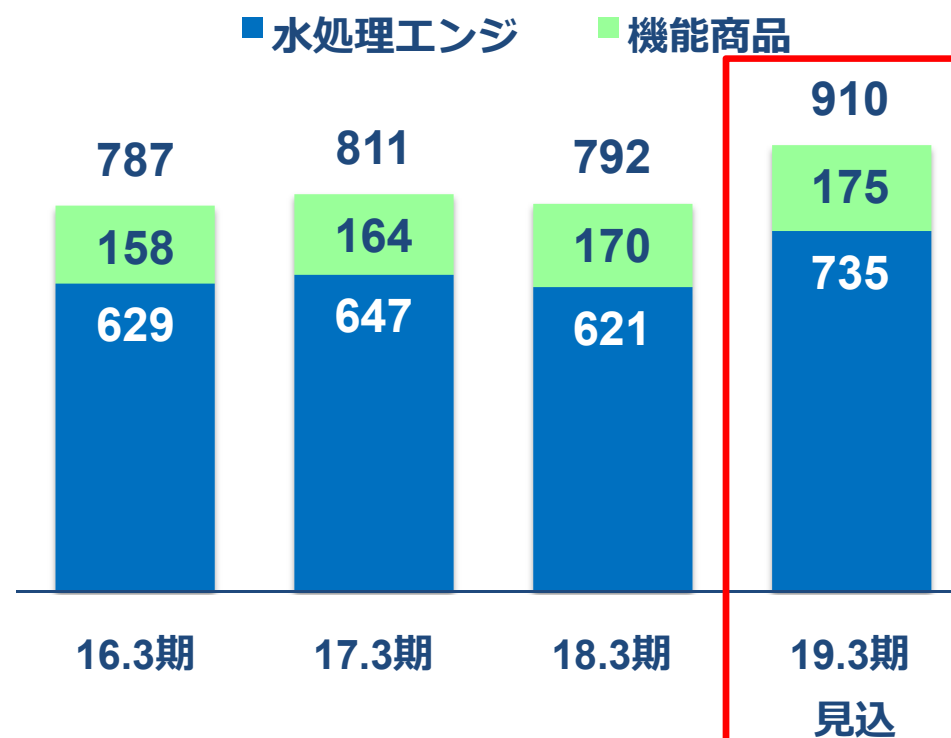
# 通期売上高見込

- 上期好調の受注を受け、電子産業を中心に売上が伸長  
⇒中国・国内電子産業の売上が拡大、一般産業・機能商品も堅調な推移見込む
- 通期では史上最高となる売上高910億円に挑戦  
⇒上期に受注した台湾の大型案件の売上進捗見込む。売上レコードに挑戦

期間売上高推移



通期売上高推移 (単位：億円)

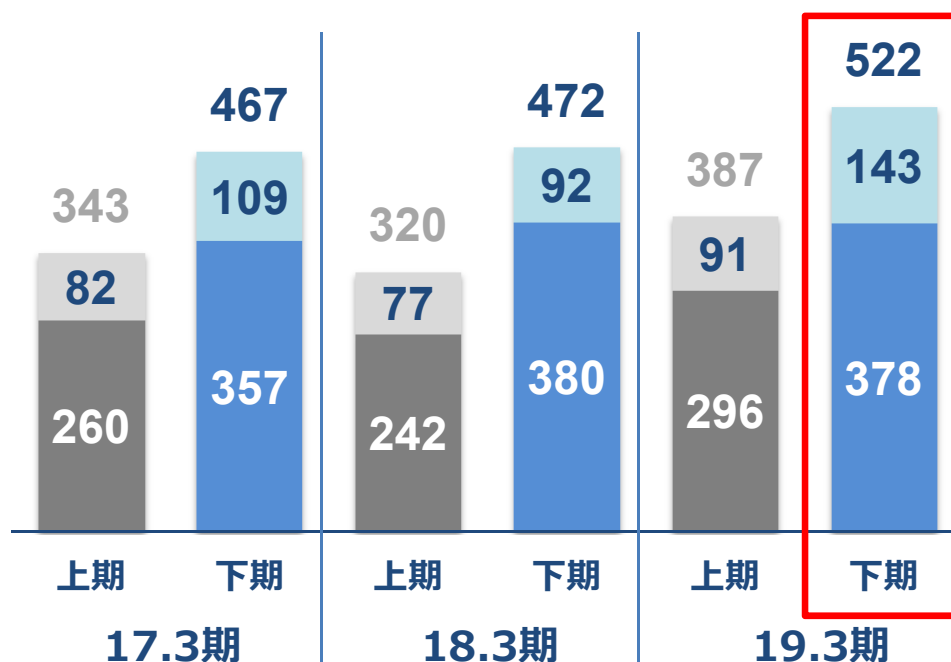


# 通期売上高見込：国内・海外別

- 国内、海外とも前期比で売上拡大を見込む
  - ⇒ 海外は中国・台湾の電子産業を中心に売上拡大見込む
  - ⇒ 国内では電子産業・一般産業を中心に売上拡大

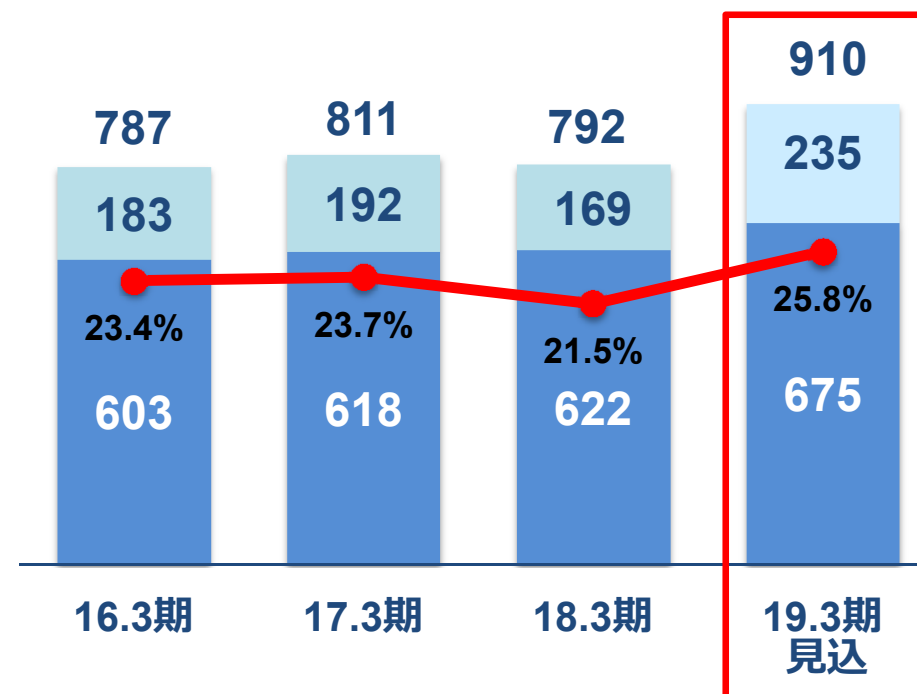
国内・海外別 売上高

■ 国内 ■ 海外



国内・海外別 売上高 (単位：億円)

■ 国内 ■ 海外 ● 海外比率



# 通期売上高見込：海外売上高・地域別

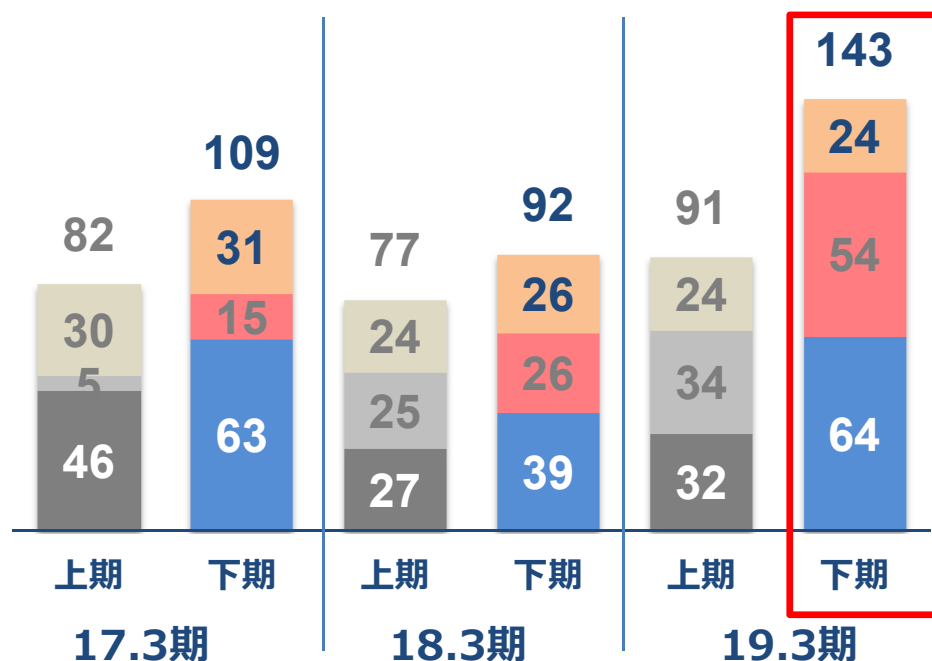
- 海外は台湾・中国における電子産業分野の売上拡大見込む

⇒ 台湾は大型投資の回復を受け売上拡大の見込み

⇒ 中国では活発な設備投資が継続、売上高が大きく伸長

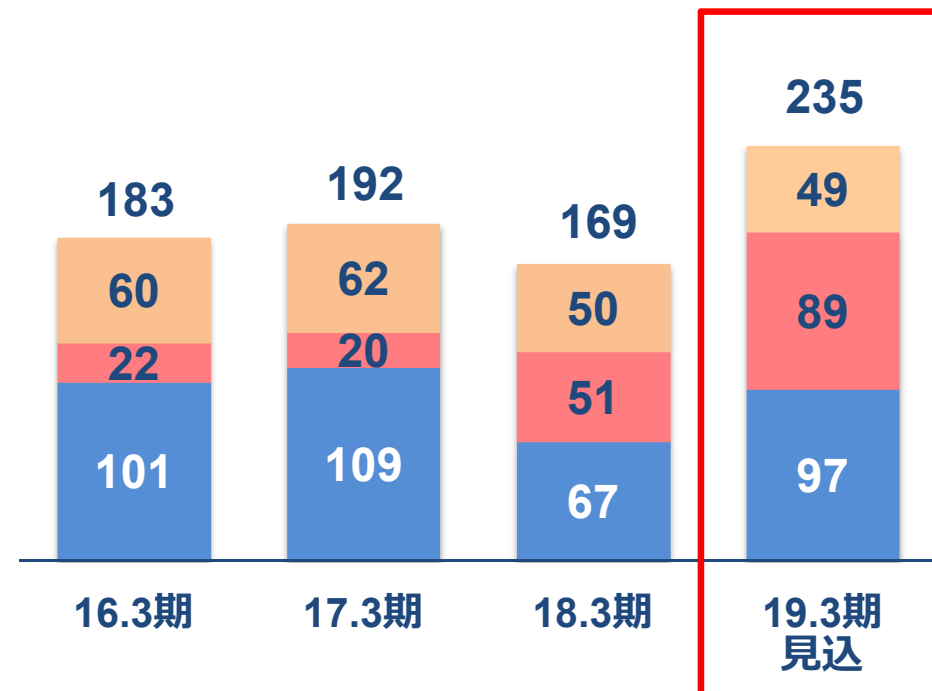
海外地域別 売上高

■台湾 ■中国 ■東南アジア他



海外地域別 売上高 (単位：億円)

■台湾 ■中国 ■東南アジア他

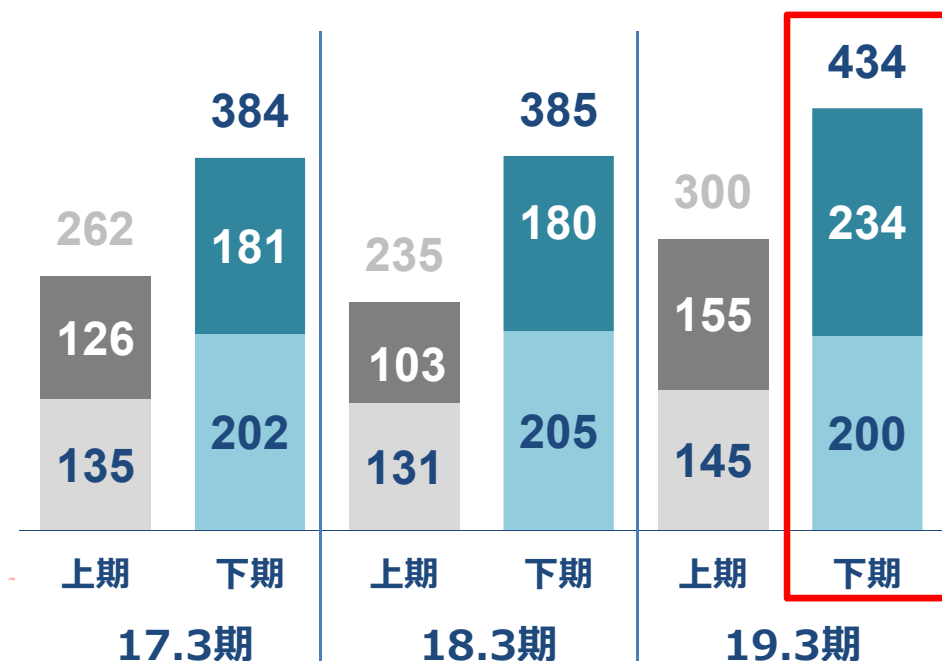


# 水エンジニアリング事業：プラント・ソリューション売上高

- プラント中心に売上拡大見込む。ソリューションも好調に推移
  - ⇒ プラントは日・中・台の電子産業・国内の一般産業中心に拡大
  - ⇒ ソリューションは電子産業・一般産業とも堅調な推移見込む

水エンジニアリング事業：部門別売上高

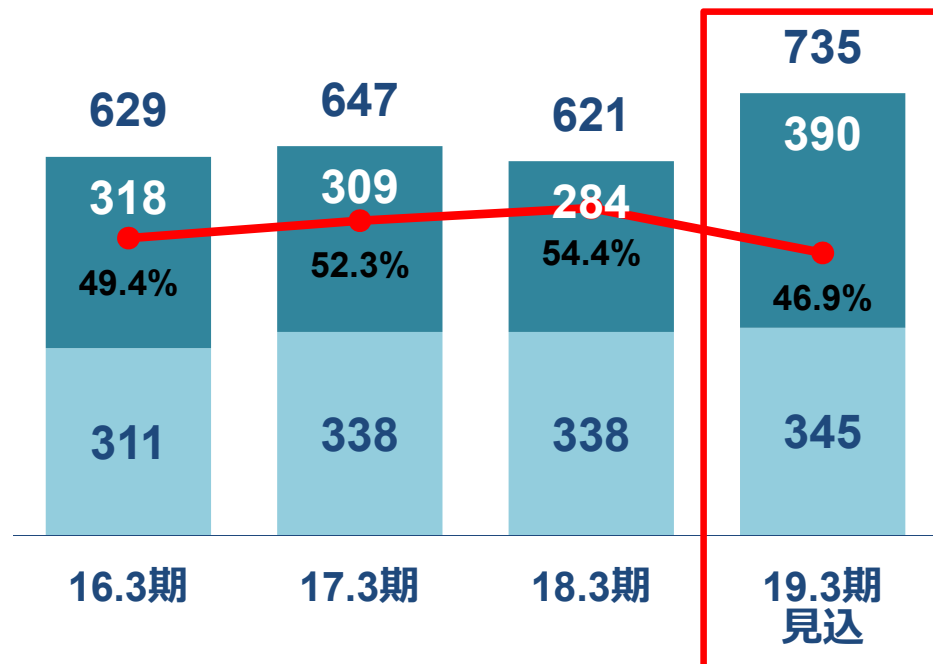
■ソリューション ■プラント



(単位：億円)

水エンジニアリング事業：部門別売上高

■ソリューション ■プラント ●ソリューション比率



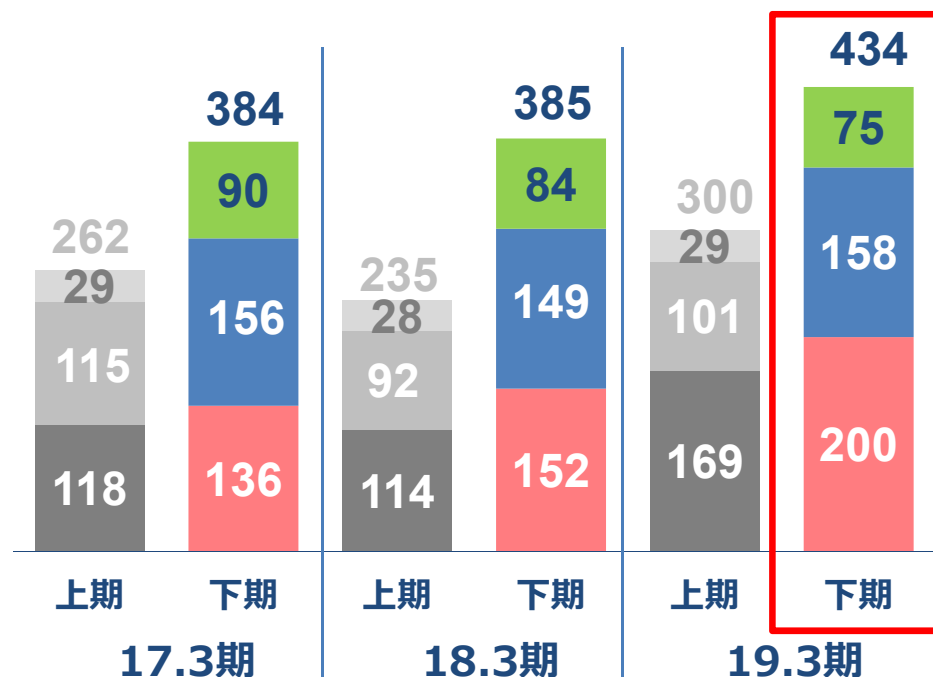
# 水エンジニアリング事業：顧客分野別売上高

- 電力・上下水はやや低調も、電子産業・一般産業の拡大見込む
  - ⇒ 電子産業は日・中・台でプラント・ソリューションの売上拡大
  - ⇒ 一般産業は日本での売上回復が寄与

(単位：億円)

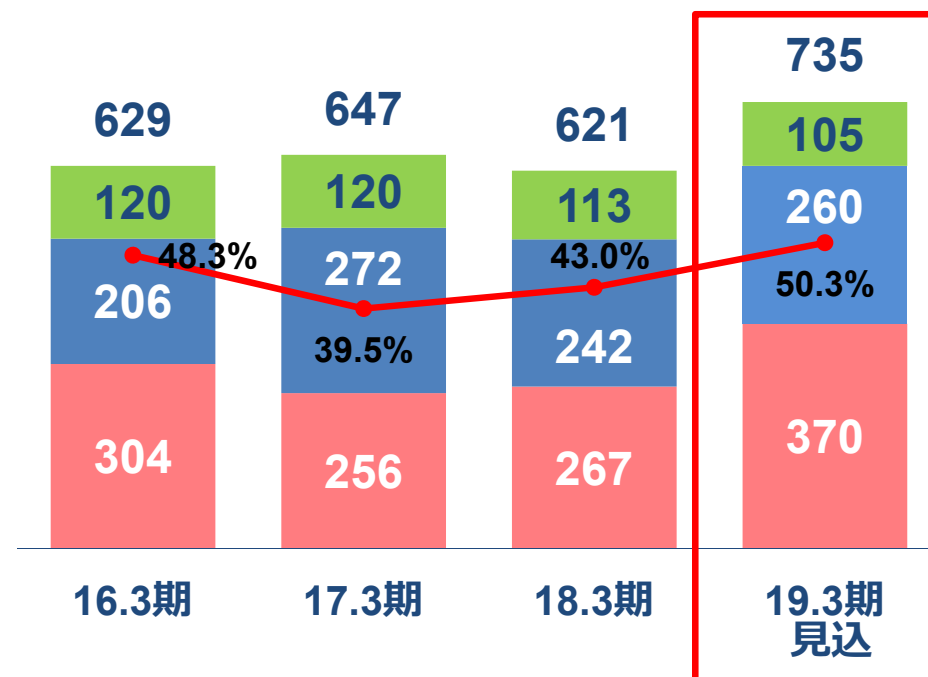
水エンジニアリング事業：顧客別売上高

■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 電力・上下水



水エンジニアリング事業：顧客別売上高

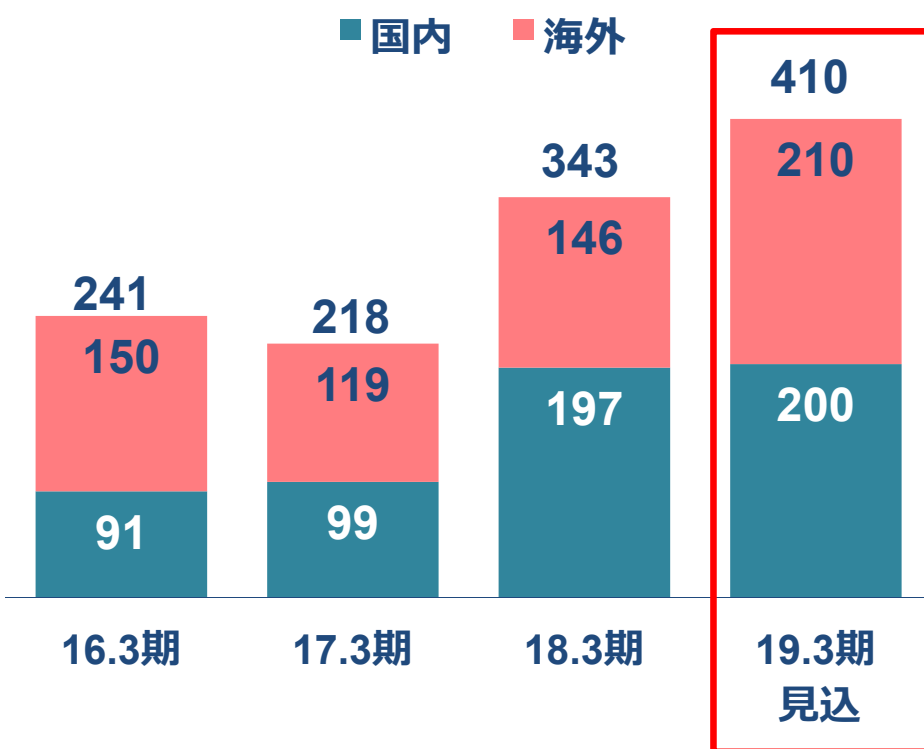
■ 電子産業 ■ 一般産業 ■ 電力・上下水 ● 電子産業比率



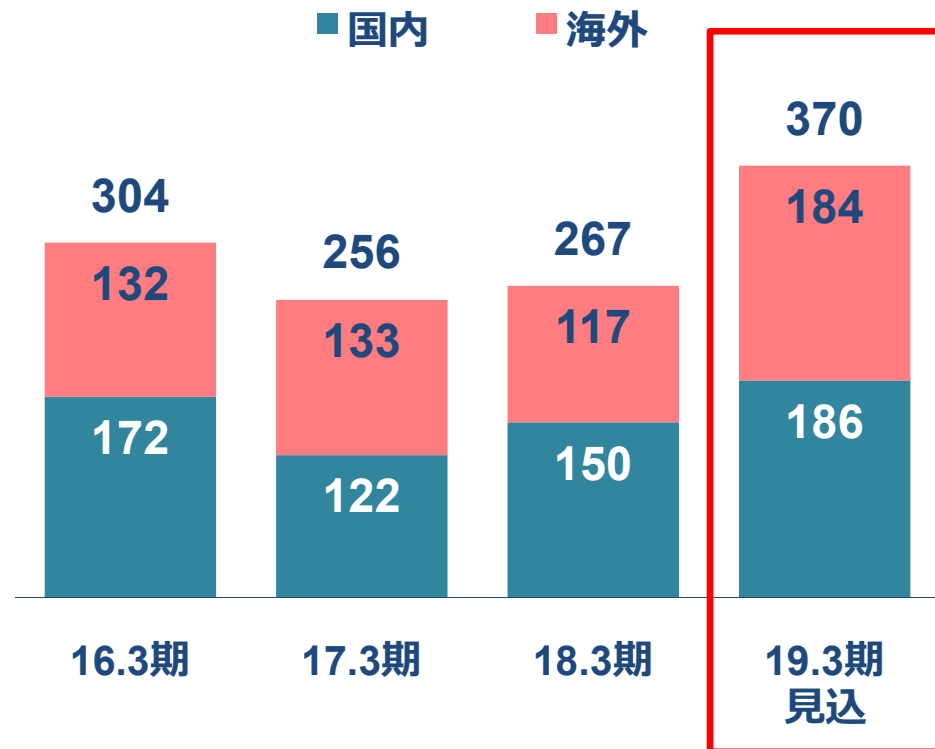
# 電子産業向け 受注・売上計画（水エッジ事業）

- 受注高は国内で高い水準を維持、海外は台湾中心に拡大見込む  
⇒ 好調続く中国に加え、停滞していた台湾の大型投資回復が寄与
- 売上高は国内・中国・台湾の売上伸長を見込む  
⇒ 大型プラントの売上に加え、ソリューションも好調に推移

電子産業向け受注高



電子産業向け売上高



(単位：億円)

# 機能商品事業：売上高の状況

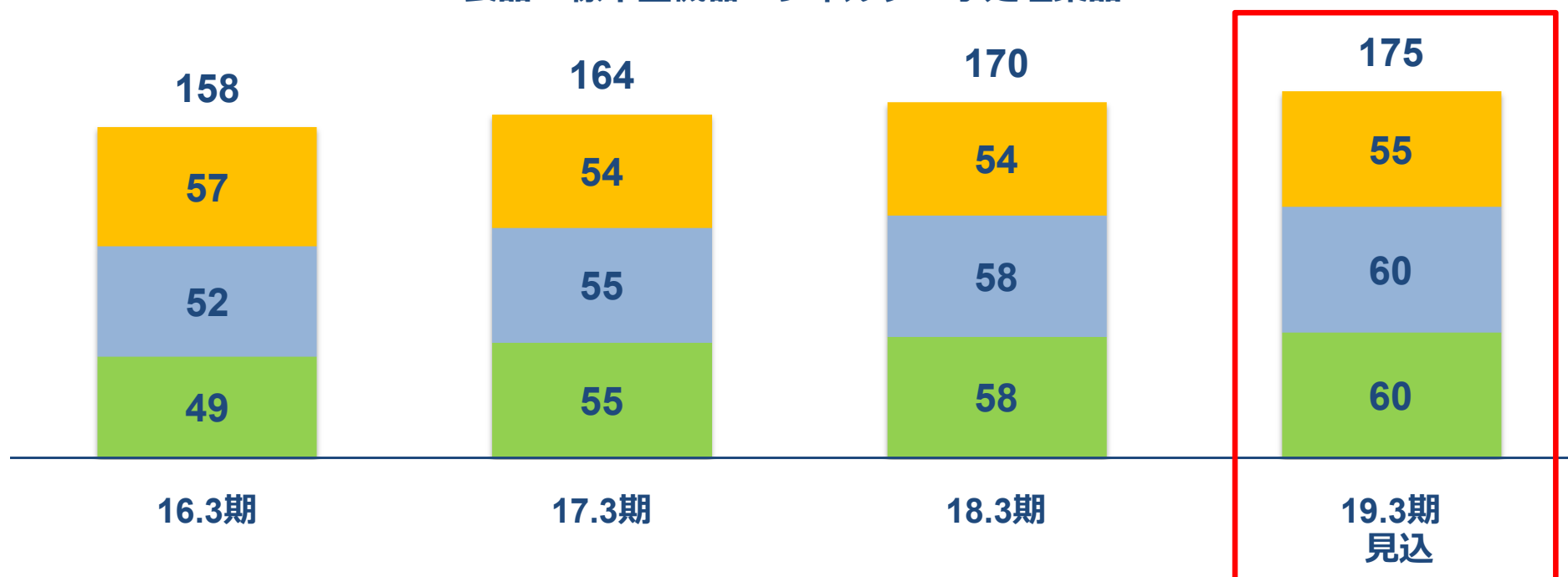
- 機能商品事業は各部門とも着実な売上拡大を見込む
- 国内販売中心のため、海外展開を強化

⇒中国・台湾・アジアで水処理薬品・標準型機器の販売体制を強化

機能商品事業 部門別売上高

(単位：億円)

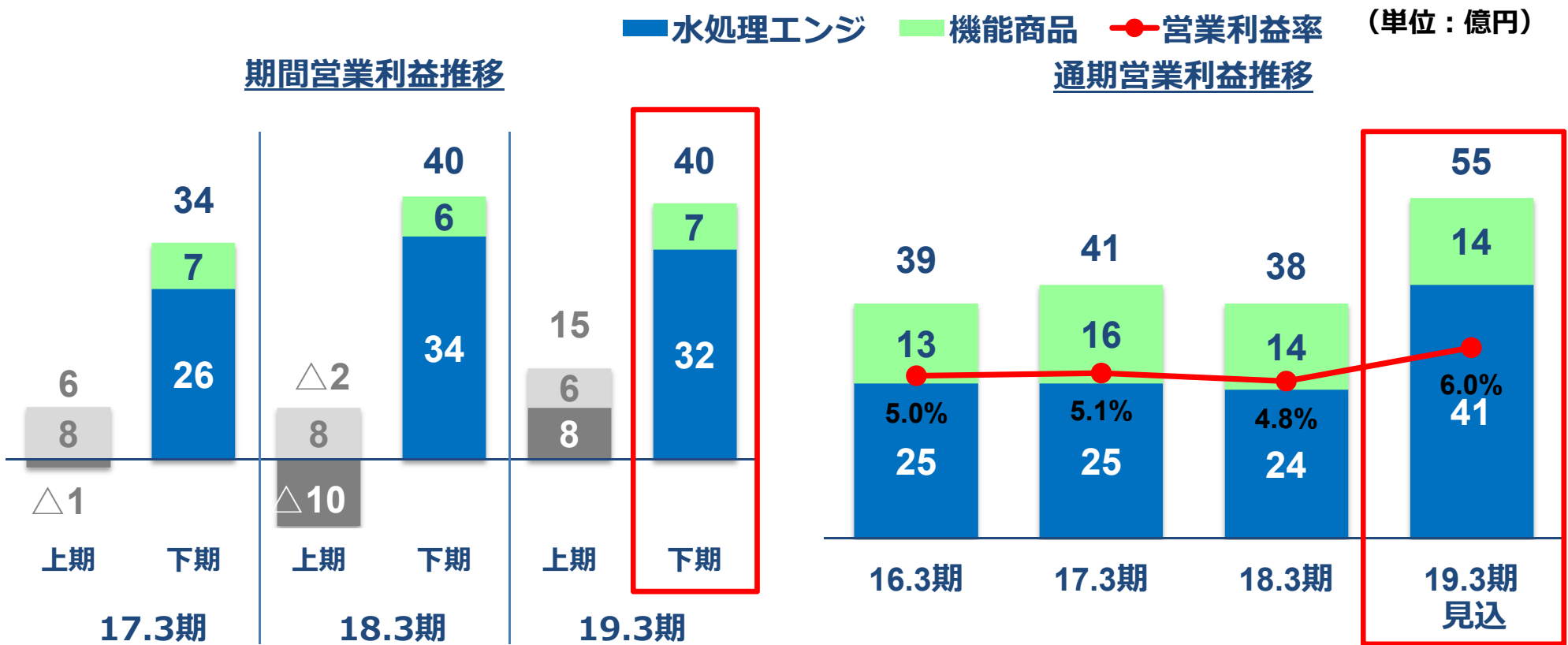
■食品 ■標準型機器・フィルタ ■水処理薬品





# 通期営業利益見込

- 水処理エンジの利益拡大により前期比での増益を見込む  
⇒売上拡大による利益増に加え、プロジェクトの利益率改善が寄与



# 通期営業利益見込分析

- 水処理エンジニア**：電子産業の売上拡大が寄与。プラントの収益性は改善も売上構成の変動によってセグメントの利益率は低下
- 機能商品**：売上拡大も製造コスト等の費用増によりほぼ横ばい
- 販管費**：研究開発や体制強化に伴う販管費が増加

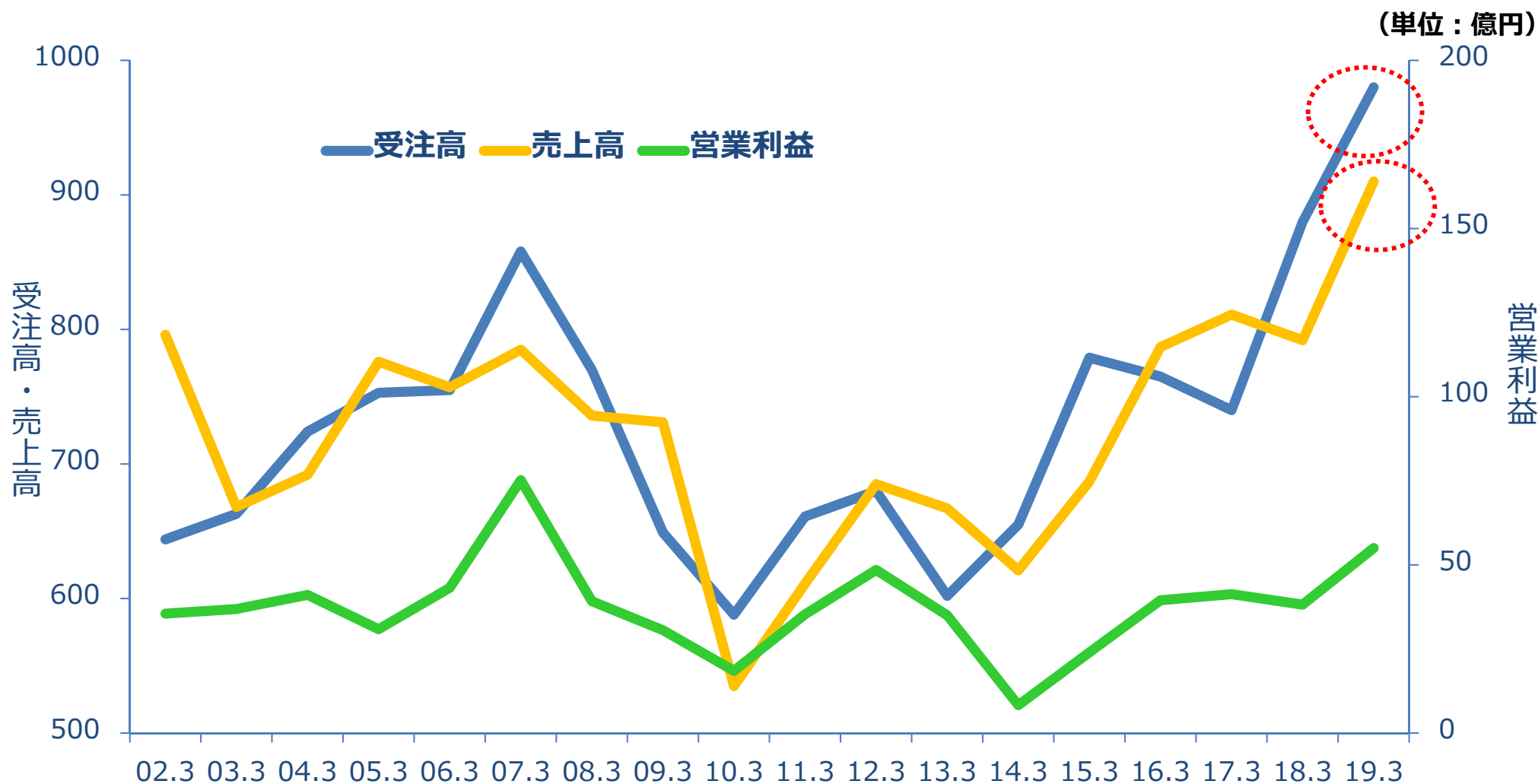
営業利益(前期比)

(単位：億円)



# 連結業績の推移

## 受注高・売上高は過去最高値、新しい成長フェーズへ



# 主な指標

	2018年3月期	2019年3月期 (計画)	2019年3月期 (見込)
設備投資額 (百万円)	644	900	900
技術研究費 (百万円)	1,776	1,950	1,950
減価償却費 (百万円)	972	1,100	950
有利子負債 (百万円)	15,484	16,000	15,500
従業員数 (人)	2,179	2,200	2,200
年間配当金 (円)	53	58	58
ROE (%)	5.5	5.2	6.8

# 目次

---

1. 2019年3月期上期実績・通期見込
- 2. 中期経営計画進捗状況**
3. 会社概要

# 中期経営計画(2018~2020)

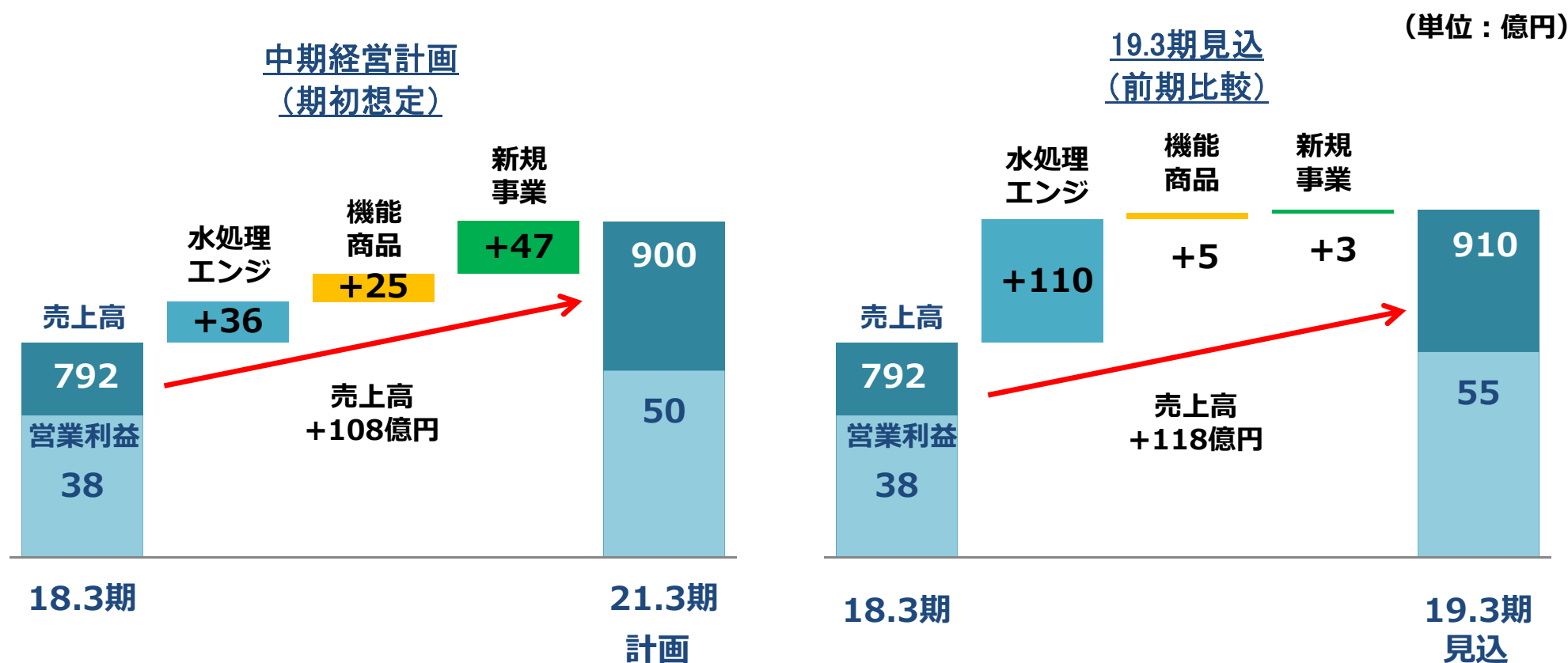
## 目標とする経営指標

2020年度 **売上高 900億円** / **営業利益 50億円**  
**連結ROE・営業利益率 5%以上**を安定的に達成できる  
収益構造を確立し、将来的には**ROE8%以上**を目指す

単位：億円	2018.3期 実績	2019.3期 計画	2019.3期 見込	2020.3期 中計	2021.3期 中計
受注高	880	870	980	880	900
売上高	792	890	910	880	900
営業利益(%)	38(4.8%)	42(4.7%)	55(6.0%)	43(4.9%)	50(5.6%)
ROE (%)	5.5%	5.2%	6.8%	5.2%	5.6%

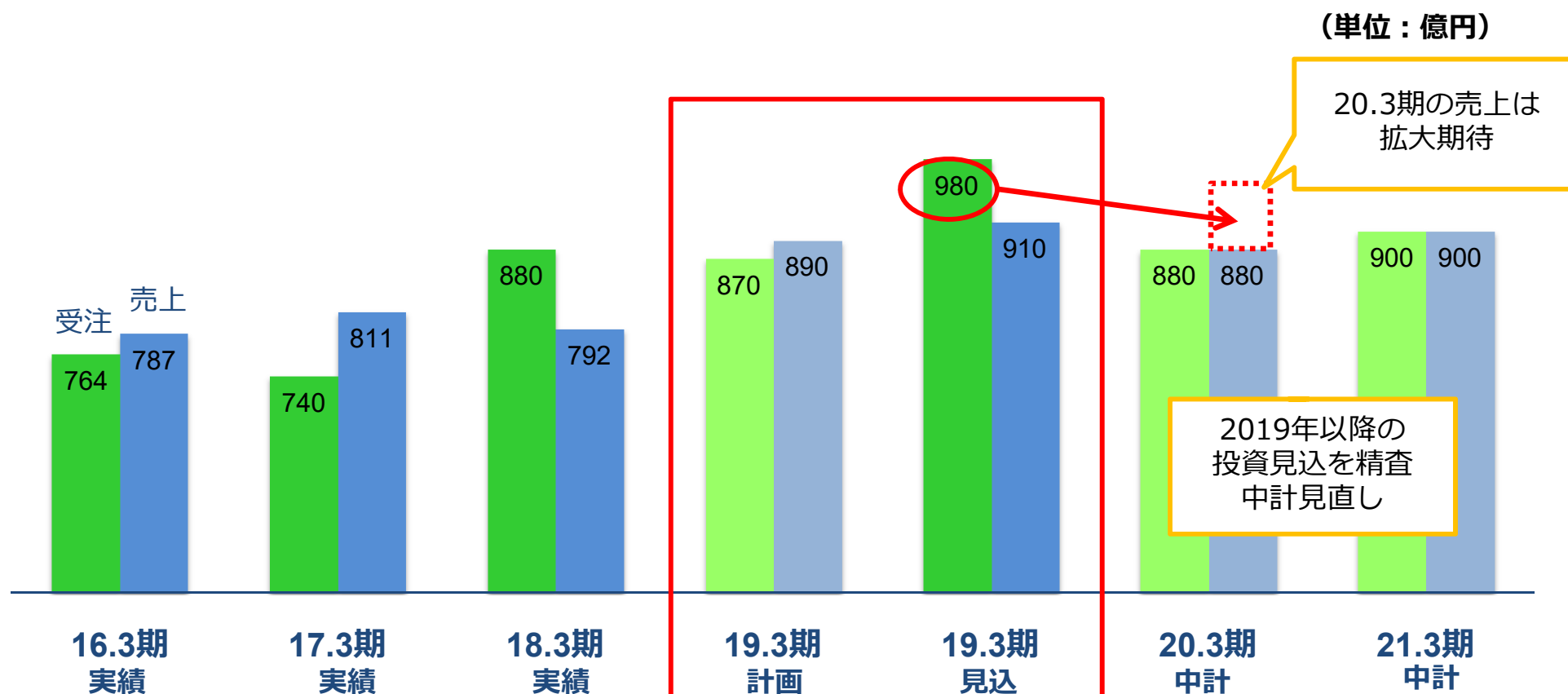
# 中期経営計画の状況

- 電子産業投資が好調。19.3期に中期計画目標を前倒して達成見込み  
 ⇒期初時点では20.3期以降の電子産業投資の減速を想定  
 ⇒成長分野として掲げる機能商品/新規事業の拡大は道半ば



# 中期経営計画の見直し

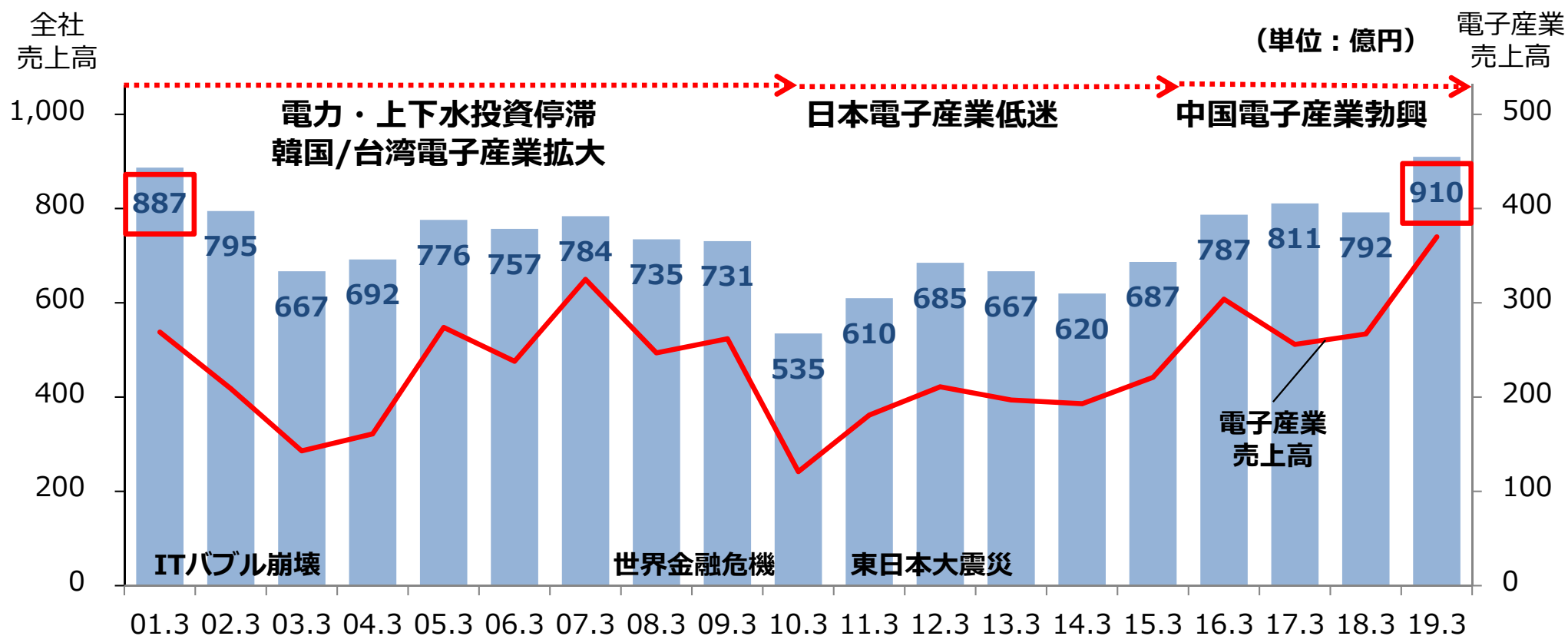
- ・ 19.3期の受注は期初計画を上回る見込み。20.3期売上は拡大期待
- ・ 2019年以降の投資見込を精査し、中期計画の見直しを行なう
- ・ 機能商品の強化・新事業の開拓への取り組みは継続





# オルガノ 長期業績動向

- ・ 2000年以降成長が停滞、19.3期は01.3期以来の売上レコード更新見込み
  - ・ 電子産業の設備投資動向が売上の増減に大きく影響
  - ・ 業績は比較的安定も事業構造は硬直化
- ⇒電子産業を中心としながらも、それに頼らない成長戦略が必要



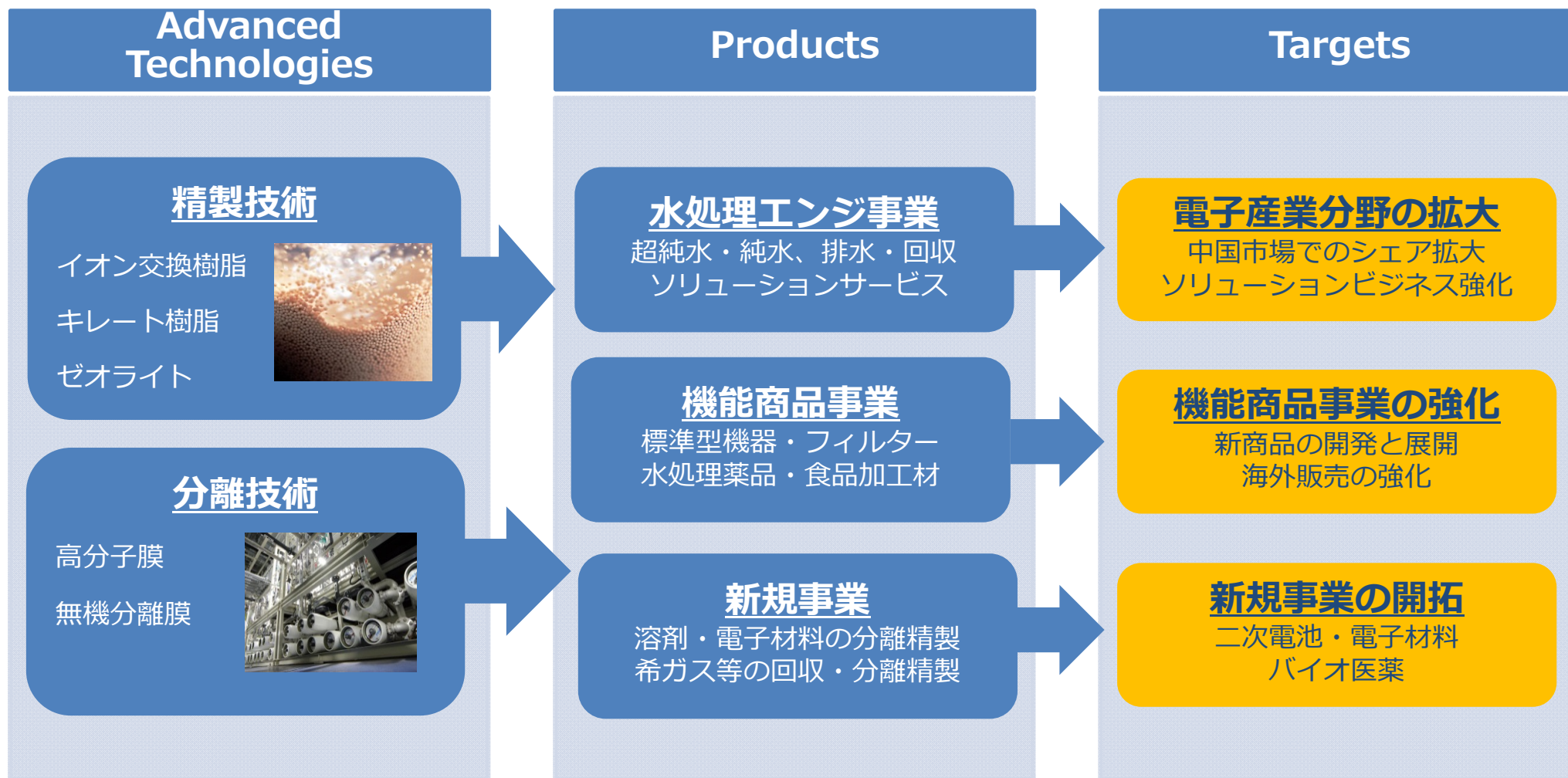
# リスクの把握

---

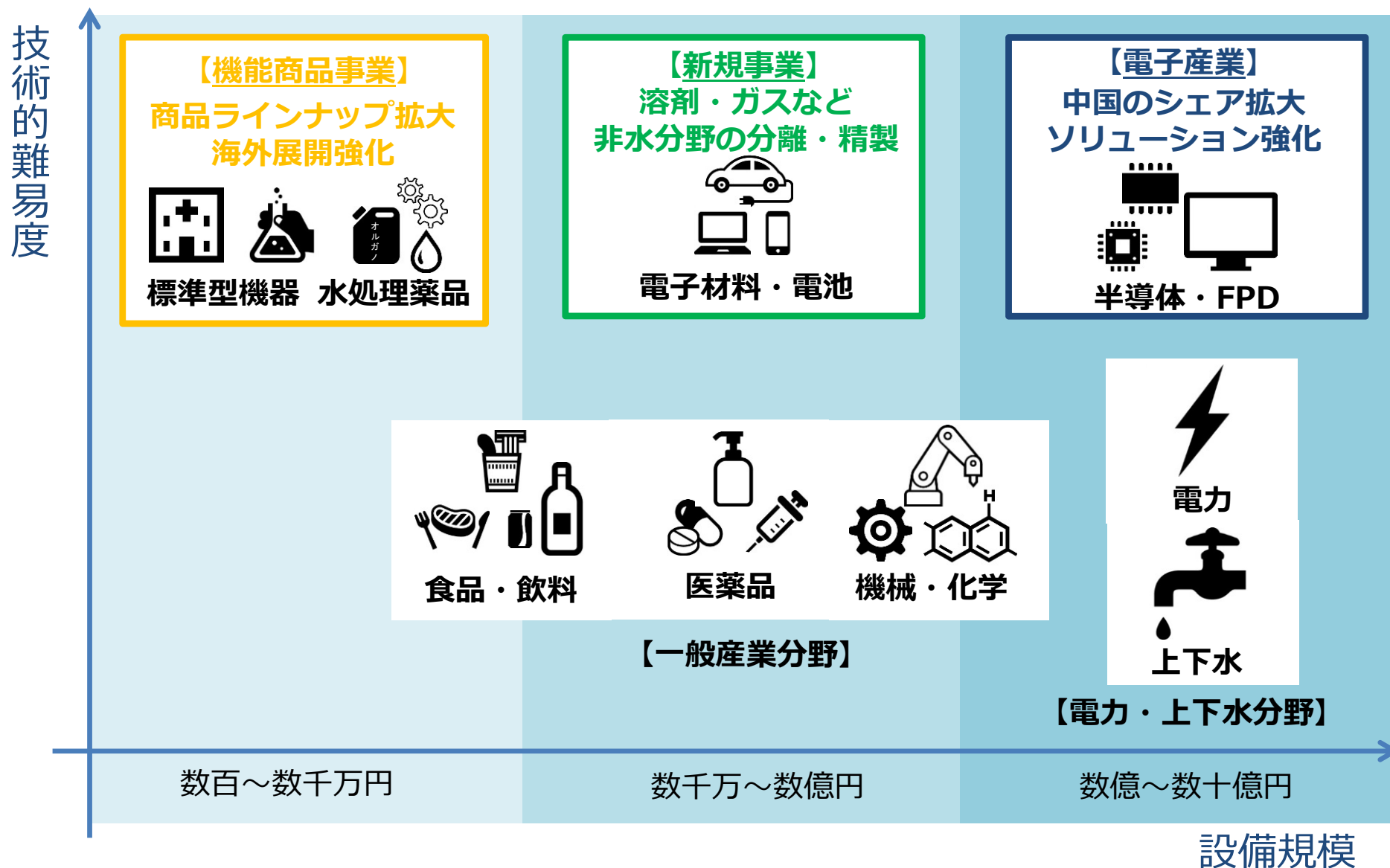
- **業績の向上が電子産業分野に大きく依存、電子産業の将来に不安要素が顕在化**
- **機能商品事業は主に国内で成長してきたものの国内市場には成熟感、海外では販売・サービス網の整備要**
- **Li二次電池材料・電子材料等の分野での急激な産業勃興と技術の進化に追隨できる開発、生産体制の整備**

# 中期経営計画 成長ターゲット

## 重点分野は 電子産業 機能商品 新規事業

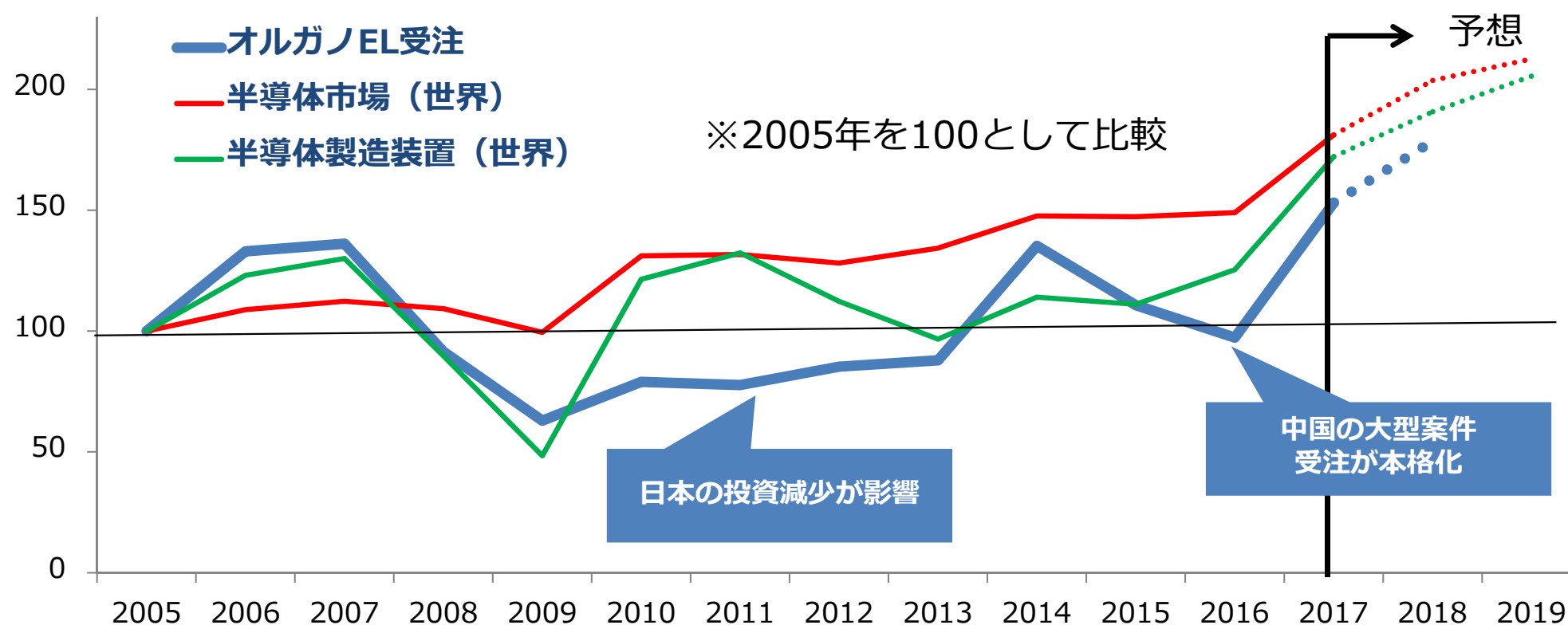


# 中期経営計画 成長ターゲット



# 電子産業市場動向

- ・ オルガノの電子産業業績は半導体製造装置動向に近い動き
- ・ 半導体製造装置の動向は変動幅大。現時点では拡大予想



出典：半導体市場(WSTS)・半導体製造装置市場(SEAJ)資料をもとに当社作成

# 中期経営計画 進捗状況 電子産業分野

## 電子産業分野の受注状況



### ■ 中国・台湾の受注好調

2017年以降、中国・台湾で半導体・パネル工場向けの大型案件受注続く。下期以降も複数の計画案件あり

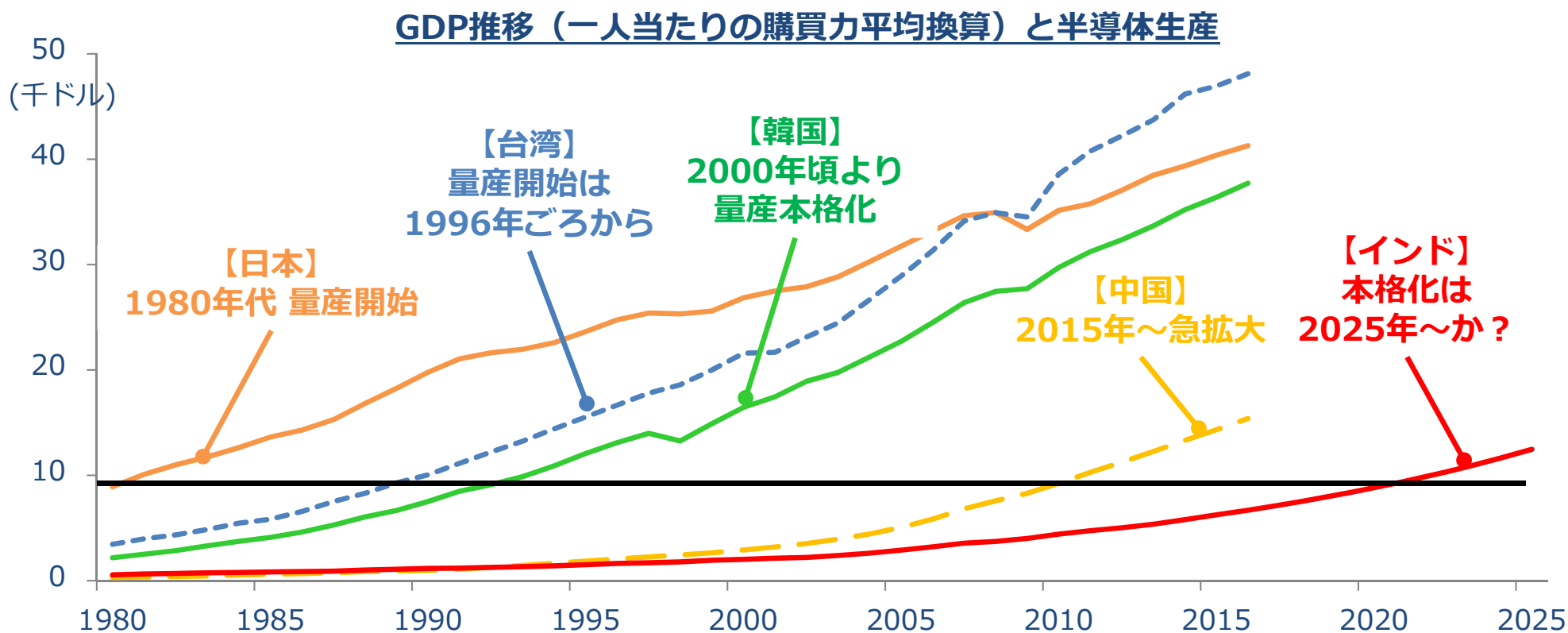
## 電子産業分野のリスク

### ■ 貿易問題・市況変動・設備過剰の影響

- ・ 米中の貿易摩擦の影響による中国の半導体投資の減速リスク
- ・ メモリーの需給ギャップによる生産能増の減速リスク
- ・ 大規模な半導体投資が続く中国の設備過剰懸念

# インド市場への展開（電子産業）

- ・ 東アジア地域では一人当たりの購買力平価換算のGDPが1万ドルを超えると半導体生産が本格化
- ・ インドにおいても2025年ごろに半導体生産の開始を予想  
⇒ インド子会社の技術力・納入体制強化に取り組む





# 中期経営計画 進捗状況 機能商品事業

## 新商品 ピューリック UP- $\alpha$ の上市

- **デスクトップタイプの 超純水製造装置 ピューリック UP- $\alpha$  上市**  
独自のイオン交換樹脂技術により  
高純度の超純水を水道水直結型で実現  
有機分析・バイオ実験市場に販売



## 海外展開の強化

- **中国・台湾・アジアでの機能商品販売強化**
  - ・ **臨床検査分析向けの標準型機器を中国市場で販売開始**  
⇒販売・メンテナネットワークを構築
  - ・ **中国・台湾・ベトナムで水処理薬品販売を拡大**  
⇒電子産業の生産設備向けの水処理薬品販売を強化



# 中期経営計画 進捗状況 新規事業分野（電池関連）

## NMPリサイクル設備

### ■ NMPリサイクル設備

リチウムイオン電池の製造に用いられる溶剤（NMP）のオンサイトリサイクル設備を開発。成長著しい中国市場中心に営業展開。



## 二次電池 電解液の精製

### ■ 電解液の精製

リチウムイオンバッテリーなどの二次電池に用いられる電解液の不純物を精製する技術を開発。精製電解液の成分評価、また精製電解液を用いた電池の性能評価を中国の研究機関で評価中。

# 中期経営計画 進捗状況 新規事業分野

## 電子材料向け市場開拓

### ■ 半導体製造向け溶剤・ガス分離精製

半導体の微細化によって求められるレジスト・IPAなど各種溶剤の純度向上ニーズに向け、脱水・金属除去などの分離・精製技術確立を目指し実験を展開

## バイオ医薬向け市場開拓

### ■ バイオ医薬向け

バイオ（抗体）医薬品の精製工程におけるコストダウンニーズをターゲットに連続精製クロマト装置を開発中。シンガポールの研究機関との共同研究を計画

# 中期経営計画 進捗状況

## ソリューションサービスの強化

### ■ 上下水道向けの遠隔監視クラウドサービスを開始

上下水道施設の管理コスト削減や効率的な運転を実現するクラウド型の遠隔監視サービス「**オルトピアJクラウド**」を米子市に提供開始。水質の監視ポイント箇所数に応じた定額制サービスで、効率的な水質監視を低価格で実現。



# 目次

---

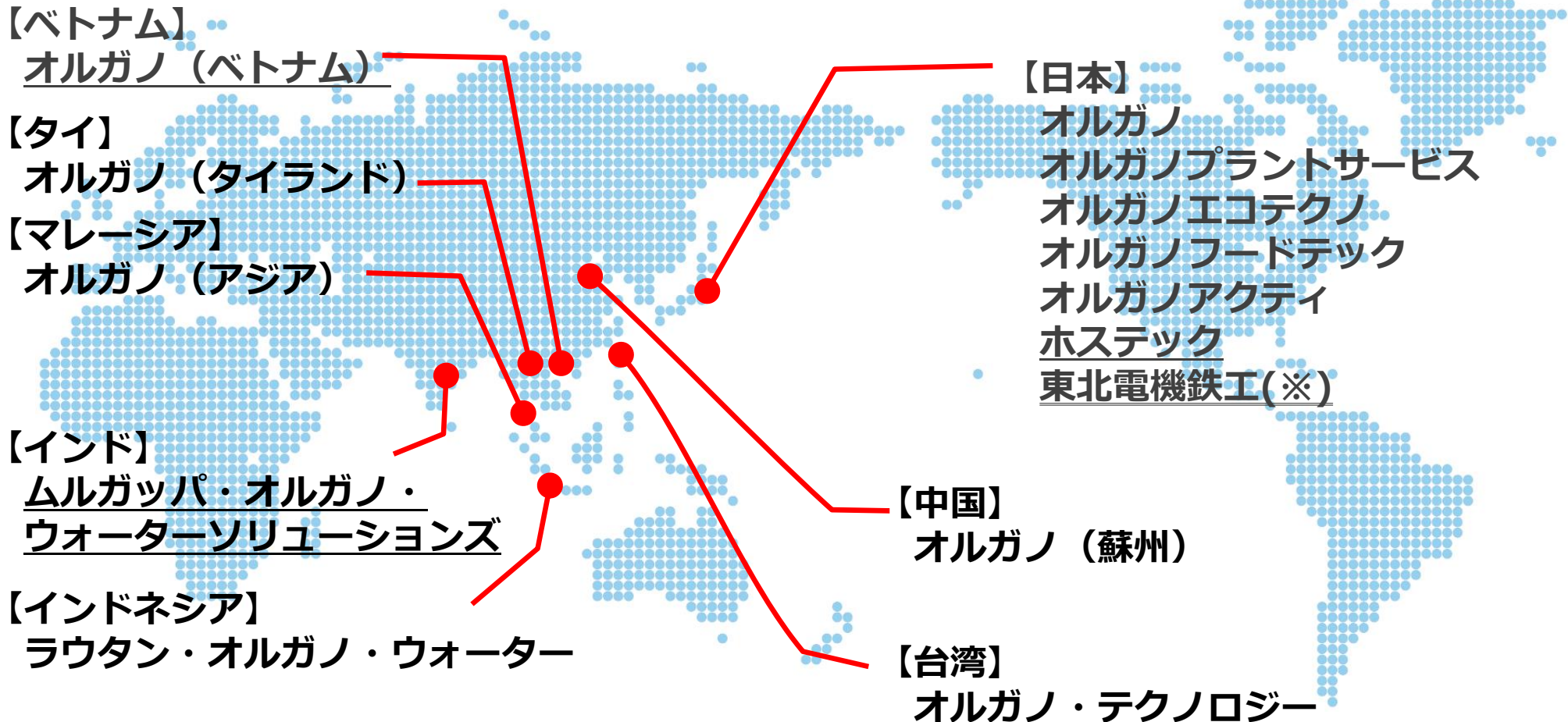
1. 2019年3月期上期実績・通期見込
2. 中期経営計画進捗状況
3. 会社概要

# 会社概要

社名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）	
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号	
設立	1946年5月1日	
代表者	代表取締役社長 鯉江 泰行	
資本金	82億2,549万9,312円	
従業員数	2,189名（連結） ※2018年9月30日現在	
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業 ソリューション事業
		大型水処理設備の製造販売 設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業	標準型水処理機器、水処理薬品、 食品添加剤の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）	



# オルガノグループ各社


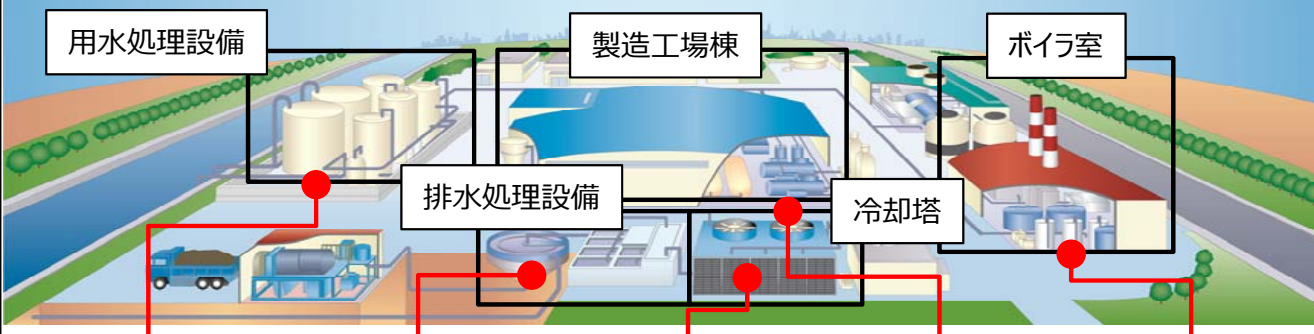



(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社

# 水処理エンジニアリング事業・事業概要

プラント事業	主な対象分野
<p data-bbox="181 371 925 544">最先端の高度な技術を組み合わせた さまざまな用途に適する 水処理関連設備</p> <ul data-bbox="152 587 813 783" style="list-style-type: none"><li>◆ 用水製造設備（純水、超純水等）</li><li>◆ 排水処理・排水回収設備</li><li>◆ 有価物回収設備</li><li>◆ プロセス関連設備（糖類精製等）</li></ul> 	<p data-bbox="1630 587 1955 635"><b>電子産業分野</b></p> <p data-bbox="1547 647 2040 683">半導体／液晶／各種電子部品等</p> <p data-bbox="1686 756 1904 804"><b>電力分野</b></p> <p data-bbox="1563 817 2024 852">火力発電所／原子力発電所等</p>
ソリューション事業	
<p data-bbox="170 1042 1435 1141">水処理設備の最適な運用を実現するソリューションを提供</p> <ul data-bbox="152 1150 712 1337" style="list-style-type: none"><li>◆ 消耗品交換・メンテナンス</li><li>◆ 運転管理</li><li>◆ 改造工事</li><li>◆ 水処理加工受託</li></ul> 	

# 機能商品事業・事業概要

標準型機器・フィルター		水処理薬品	
標準型機器	<p>研究機関・病院等での実験・分析・検査などに用いられる高純度の水を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆超純水製造装置</li> <li>◆純水製造装置</li> </ul>  <p>ピューリック・ピュアライトαシリーズ</p>	 <p>RO水処理薬品 スライムコントロール剤 スケール防止剤等</p> <p>排水処理薬品 凝集剤・栄養剤・ 消泡剤等</p> <p>冷却水処理薬品 スライムコントロール剤 分散剤等</p> <p>洗浄薬品 化学洗浄剤・ スライム剥離剤等</p> <p>ボイラ水処理薬品 脱酸素剤・分散剤・ 清缶剤等</p> <p>工場やビルでさまざまな用途に 最適な水質管理を実現できる薬品</p>	
	<p>飲料水やコーヒーなどに適した美味しく安全な水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆コンビニ・厨房・カップ式自販機など向けの浄水フィルター等</li> </ul>  <p>オルガノフィルター D-4D</p>	<p>食品加工材</p> <p>高齢者食、介護食市場や弁当・惣菜などの中食市場、機能性食品・栄養補助食品などに向けた食品素材・食品添加剤など時代の要請に応える食品加工材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ゼリー、たれ等向けのゲル化剤、増粘剤</li> <li>◆たん白、食物繊維等の食品素材等</li> </ul>	



# オルガノ株式会社



## お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240 / E-mail : info@organo.co.jp

<https://www.organo.co.jp/>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2019年3月期 上期決算説明会 補足資料



**オルガノ株式会社**

2018年11月7日

## <目 次>

1.	2019年3月期 上期実績及び通期業績予想		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

### ■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



# オルガノ株式会社

# 1. 2019年3月期 上期実績及び通期業績予想

## ① 連結損益

(単位：百万円)

	2018年3月期				2019年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	39,588	3.3%	88,049	18.9%	40,000	50,031	26.4%	87,000	98,000	11.3%
売上高	32,003	△ 6.9%	79,226	△ 2.3%	40,000	38,782	21.2%	89,000	91,000	14.9%
海外売上高 (海外売上高比率)	7,790	△ 5.9%	16,994	△ 11.7%	10,500	9,166	17.7%	23,000	23,500	38.3%
	24.3%		21.5%		26.3%	23.6%		25.8%	25.8%	
売上総利益 (売上総利益率)	7,212	△ 6.9%	19,150	2.7%	8,400	9,361	29.8%	19,900	21,200	10.7%
	22.5%		24.2%		21.0%	24.1%		22.4%	23.3%	
販管費	7,448	5.5%	15,328	5.5%	7,800	7,851	5.4%	15,700	15,700	2.4%
営業利益 (営業利益率)	△ 235	- %	3,821	△ 7.1%	600	1,509	- %	4,200	5,500	43.9%
	- %		4.8%		1.5%	3.9%		4.7%	6.0%	
経常利益 (経常利益率)	△ 182	- %	3,933	△ 5.5%	550	1,549	- %	4,100	5,400	37.3%
	- %		5.0%		1.4%	4.0%		4.6%	5.9%	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (当期純利益率)	△ 253	- %	2,780	1.8%	320	916	- %	2,800	3,700	33.1%
	- %		3.5%		0.8%	2.4%		3.1%	4.1%	

## ② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2018年3月期				2019年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	39,588	3.3%	88,049	18.9%	40,000	50,031	26.4%	87,000	98,000	11.3%
水処理エンジ	31,020	2.7%	70,889	23.0%	31,450	41,183	32.8%	69,500	80,500	13.6%
機能商品	8,567	5.5%	17,160	4.5%	8,550	8,847	3.3%	17,500	17,500	2.0%
売上高	32,003	△ 6.9%	79,226	△ 2.3%	40,000	38,782	21.2%	89,000	91,000	14.9%
水処理エンジ	23,581	△ 10.3%	62,164	△ 3.9%	31,450	30,084	27.6%	71,500	73,500	18.2%
機能商品	8,422	4.3%	17,061	3.9%	8,550	8,697	3.3%	17,500	17,500	2.6%
営業利益 （営業利益率）	△ 235	—%	3,821	△ 7.1%	600	1,509	—%	4,200	5,500	43.9%
水処理エンジ （利益率）	—%	—%	4.8%	—%	1.5%	3.9%	—%	4.7%	6.0%	—%
機能商品 （利益率）	△ 1,037	—%	2,403	△ 4.0%	△ 50	813	—%	2,800	4,100	70.6%
	—%	—%	3.9%	—%	—%	2.7%	—%	3.9%	5.6%	—%
	802	△ 2.2%	1,418	△ 11.9%	650	695	△ 13.3%	1,400	1,400	△ 1.3%
	9.5%		8.3%		7.6%	8.0%		8.0%	8.0%	

## ③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2018年3月期				2019年3月期					
	上期		通期		上期			通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	予想	前期比
受注高	11,513	2.6%	34,280	57.6%	16,000	22,687	97.1%	32,630	41,000	19.6%
国内	7,578	41.5%	19,663	98.6%	8,500	9,269	22.3%	15,220	20,000	1.7%
海外	3,935	△ 32.9%	14,617	23.3%	7,500	13,418	241.0%	17,410	21,000	43.7%
売上高	11,483	△ 3.3%	26,698	4.5%	17,500	16,991	48.0%	35,200	37,000	38.6%
国内	5,796	△ 3.3%	15,020	22.8%	10,000	10,110	74.4%	18,565	18,600	23.8%
海外	5,687	△ 3.3%	11,678	△ 12.3%	7,500	6,881	21.0%	16,635	18,400	57.6%

## 2. 主な指標

(単位：百万円)

	2018年3月期				2019年3月期				
	上期		通期		上期		通期見通し		
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	予想	前期比	
<b>連</b>	設備投資額	425	83.8 %	644	△ 28.7 %	227	△ 46.4 %	900	39.7 %
	技術研究費	901	25.1 %	1,776	18.8 %	848	△ 5.9 %	1,950	9.8 %
	減価償却費	454	1.1 %	972	2.3 %	438	△ 3.4 %	950	△ 2.3 %
	有利子負債	14,831	△ 10.9 %	15,484	△ 8.4 %	14,571	△ 1.8 %	15,500	0.1 %
<b>結</b>	金融収支戻	△ 12	—	△ 21	—	△ 12	—	△ 40	—
	従業員数 (人)	2,172	+ 52 人	2,179	+ 79 人	2,189	+ 17 人	2,200	+ 21 人
	EPS：1株当たり当期純利益 (円)	△ 22.02		241.50		79.69		321.90	
	1株当たり配当金 (円/年)	—		53.0		—		58.0	
	ROE：自己資本当期純利益率 (%)	△ 0.5		5.5		1.8		6.8	
	ROA：総資産経常利益率 (%)	△ 0.2		4.1		1.6		—	